

## 令和4年度 社会教育委員会議 第2回定例会 次第

日時 令和5年3月15日(水) 午後6時30分～  
会場 飯田市公民館(ムトスぷらざ)3階大会議室 A,B

### 1 開 会

### 2 あいさつ(熊谷教育長)

### 3 報告・協議事項(進行:中島座長)

- (1) 社会教育関係各課・館・所の令和4年度事業報告及び令和5年度の方針について 資料1  
(第2次飯田市教育振興基本計画 中期4年間の取組(いいだ未来デザイン2028中期計画戦略計画)に掲げる重点事業)

- (2) 令和5年度社会教育関係団体へ交付を予定する補助金の意見聴取について 資料2  
※社会教育法第13条に基づく意見聴取

- (3) 令和4年度ムトスぷらざの取組について 資料3

- (4) 部活動地域移行を見ずえた中学生期のスポーツ・文化芸術活動環境の充実に向けた取組について 資料4

### 4 社会教育委員会議の活動についての意見交換・情報交換

(以下の進行:事務局)

### 5 教育委員会各課・館・所からの報告事項

6 新年度の日程(予定)

期 日	会議等名	会 場
4月26日(水)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会理事会(正副座長)	飯田合同庁舎
5月下旬	社会教育委員会議 第1回定例会	市内社会教育施設
6月14日(水)	長野県社会教育委員連絡協議会総会・講演会	県総合教育センター
6月23日(金)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会	喬木村
9月14日(木)	長野県社会教育研究大会	県総合教育センター
未定	飯伊社会教育委員連絡協議会中北部ブロック研修会	高森町当番
未定	社会教育委員会議 臨時会	市内社会教育施設
11月9日(木)～ 10日(金)	全国社会教育研究大会(宮崎大会)	宮崎県宮崎市
11月21日(火)～ 22日(水)	関東甲信越静社会教育研究大会(栃木大会)	栃木県宇都宮市
12月6日(水)	飯伊地区社会教育委員連絡協議会理事会(正副座長)	飯田合同庁舎
令和6年3月中旬	社会教育委員会議 第2回定例会	市内社会教育施設

【(参考)長野県社会教育委員連絡協議会理事会】

- 5月 2日 (火) 長野県庁
- 6月 14日 (水) 県総合教育センター
- 7月 18日 (火) 長野県庁
- 11月 24日 (金) 長野県庁
- 2月 14日 (水) 長野県庁

7 その他

8 閉 会

令和4年度 飯田市社会教育委員 名簿 (50音順 敬称略)

令和4年4月1日現在

氏 名	種 別
いまむら さちこ 今村 幸子	B 社会教育関係者
いまむら みつとし 今村 光利	B 社会教育関係者
かつまた まり 勝又 真理	B 社会教育関係者
すずき まさこ 鈴木 雅子	B 社会教育関係者
たけうち みのる 竹内 稔	C 学識経験者
ながい ゆうこ 永井 祐子	C 学識経験者
なかじま まさあき 中島 正韶	C 学識経験者
ひらた むつみ 平田 睦美	C 学識経験者
みうら ひろこ 三浦 宏子	B 社会教育関係者
もちだ たかやす 持田 貴康	A 学校教育関係者 竜東中学校長
もりもと のりこ 森本 典子	B 社会教育関係者
やまぐち たかし 山口 隆志	A 学校教育関係者 下久堅小学校長

種別 A:学校教育関係者 B:社会教育関係者 C:学識経験者

教育委員会職員名簿			
職 名		氏 名	
教育長		熊谷邦千加	
参与(教育次長事務取扱)		松下 徹	
学校教育課長		桑原 隆	
学校教育専門幹		今井 栄浩	
生涯学習・スポーツ課長		伊藤 弘	
文化財保護活用課長		宮下 利彦	
歴史研究所副所長		牧内 功	
公民館副館長	秦野 高彦	社会教育係	本島 秀勇
文化会館長	下井 善彦		矢澤 健
中央図書館長	瀧本 明子		福澤 慎吾
美術博物館副館長	牧内 功		片桐 和子

12年間の取組 教育ビジョン 地育力による 未来をひらく 心豊かな人づくり

4年間の取組 (令和3～6年度) 3つの重点目標 12年間の飯田市の教育ビジョンと、教育振興の6つの方針、さらには取組の12の柱を踏まえて、令和3年度から令和6年度までの中期4年間に、重点的かつ組織横断的に取り組む「重点目標」を以下のように掲げます。

**重点目標 1 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む (いいだ未来デザイン2028 基本目標3)**

アクションプログラム(いいだ未来デザイン2028戦略計画では小戦略に位置づく)

■ 学力保障・学力の向上

お互いを認め合い、安心して学べる学級づくりを目指し、子どもたちの学力の保障・向上と不登校対策のため、小中連携・一貫教育を進めます。また、コロナ禍への対応含め、全ての教育活動を通じてICTの活用を推進します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
全国学力・学習状況調査における小学校国語、算数、中学校国語、算数の全国平均との比較	小6国語○ 小6算数○ 中3国語△ 中3数学△	小6国語○ 小6算数○ 中3国語○ 中3数学○
自己肯定感(自分の良いところ)全国平均差	小-1、中-3	全国平均

\*全国平均以下の状況。令和6年度までに全国平均を目指します。

■ 温かな人間関係づくりと誰ひとり取り残さない教育や支援

日常生活における自他の尊厳を尊重する態度を育成し、互いを認め合える温かな人間関係づくりと個に寄り添った誰ひとり取り残さない教育や支援を推進します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
不登校在籍比	小 0.87% 中 3.91%	前年度以下

\*不登校児童をなるべく増やさないよう前年度以下の在籍比を目指します。

■ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進

飯田コミュニティスクールを活かし、地域・学校・家庭がそれぞれ当事者意識を持って協働し、地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを進めます。

■ 食育の推進

学校給食の地産地消、有機食材の導入拡大と、献立に地域の旬の食材や郷土食、行事食を取り入れる工夫に努めながら、学校給食を活用した食育に取り組みます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
飯田下伊那産野菜主要10品目使用率	54.1%	55.0%

\*地場産物使用割合全国平均26.0%(H30)。現状も高いため現状維持を目指します。

■ 子どもの読書活動の推進

子どもが読書を楽しみ、感性や言葉を豊かにし、想像力、表現力や情報活用する力をつけられるよう、乳幼児期から発達段階に応じて読書体験の充実に取り組めます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
授業以外に1日10分以上読書をしている児童生徒割合(県:小6-69.0%、中3-57.1%)	小6-67.1% 中3-55.6%	県平均以上

\*日常的に本に親しんでいる児童生徒の割合。

現状は全国平均以上ですが、全国平均より高い県平均以上を目指します。

■ 児童の放課後の居場所づくり

就労等で放課後保護者等が不在となる家庭の児童の居場所づくりのため、児童支援員の確保や適切な配置に努めるとともに、4年生以上高学年の受入希望にも対応できる組織・体制づくりを進めます。

■ 少子化における児童生徒の教育環境の充実に向けた取組

児童生徒の減少や学校施設の老朽化が進んでいる中で、地域に根差した飯田らしい教育環境が展開され、将来にわたり子どもたちが主体的に学び合う場とするためには、どのような学校がよいのか、子どもたちの未来のため、みんな考えていきます。

■ 防犯・通学路の安全対策・環境整備・気候変動対応

児童生徒が安心・安全に学校生活を送ることができるよう、通学路安全対策や環境整備を進めるとともに、気候変動に適應した校外活動に取り組めます。

**重点目標 2 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む (いいだ未来デザイン2028 基本目標4)**

アクションプログラム(いいだ未来デザイン2028戦略計画では小戦略に位置づく)

■ 住民の主体的な学びあいの支援

住民の自治の力を高め、地域の担い手を育むため、住民の主体的な「地域の自然や文化などの地域資源を生かした学習や地域の課題解決に向けた学習」を支援します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
住んでいる地区や飯田市の自然、歴史、文化等に誇りや愛着がある人の割合	69.2%	74.3%

\*市民意識調査の数値です。前期の基準年(H27)数値を目指します。

■ 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開

LG(地域・地球)飯田教育の理念や地育力を活用した環境学習、ふるさと学習、体験学習等を幼児期から高校まで体系立て、子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育み、多様な自己実現の可能性を広げます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
地域や社会を良くするために考えることがある割合(県:小57.0%、中43.9%)	小55.9% 中40.0% 高新規	県平均以上

\*現状は全国平均以上ですが、全国平均より高い県平均以上を目指します。

**重点目標 3 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる (いいだ未来デザイン2028 基本目標5)**

アクションプログラム(いいだ未来デザイン2028戦略計画では小戦略に位置づく)

■ 「人形劇のまちづくり」の推進

人形劇の公演・創造活動を楽しみ、その魅力を発信するとともに、「人形劇のまち」を改めて強くアピールし、国内外との交流を進めます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
市内で上演した人形劇公演数	498	500
人形劇で交流した国内外の交流数(回)	11	15

\*コロナ禍の後に交流を再開し、現状を超えることを目指します。

■ 文化芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援

多様な文化芸術の鑑賞機会や文化芸術活動の取組の充実を進めます。

項目	現状(R1)	目標(R6)
文化活動を1回以上行っている人の割合	63.9%	65.0%

\*コロナ禍で抑えられた活動が再開し、これまでの最高値(64.3%)を超えることを目指します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
社会教育団体(文化・芸術・芸能活動)申請登録会員延べ人数	7,692	8,000

\*登録人数が減少傾向の中、3年前に登録の実績がある目標(R6)の値を超えることを目指します。

■ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

飯田市の文化芸術活動の拠点施設としての新文化会館の建て替えに向けた検討を進めます。

■ 市民のスポーツ活動、コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

市民の様々なスポーツ活動を支援し、発信するとともに、スポーツや運動習慣の定着と、スポーツを通じたコミュニティづくりを進めます。また、飯田市の特徴を活かしたスポーツイベントを開催します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
成人の週1回以上スポーツに親しむ人の割合	48.2%	—
子どもの体力・運動能力調査におけるA・Bの割合	38.5% (全国43.2%)	全国値以上

\*「スポーツ」自体の定義や、スポーツ文化の浸透度合いなど、市民意識調査の項目をR3に見直し予定。それに伴い、目標値も適切に設定。

\*全国平均以下の状況。令和6年度までに全国平均を目指します。

■ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

トップアスリートの指導やプレーに触れる機会、スポーツ指導者の育成などを通じて、競技スポーツ人口を拡大し競技志向を高めます。また、地域でトップアスリートを育てることができると体制を目指します。

■ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

全市型競技別スポーツスクールなど中学生期におけるスポーツの多様な選択肢を充実します。

項目	現状(R1)	目標(R6)
全市型競技別スポーツスクールの種目数	13(R2)	16

\*多種のスポーツに触れる環境として、スポーツ協会とともに種目数を増加させます。

■ スポーツ施設の整備、サービス向上

誰もが安全で快適に利用できるスポーツ施設の整備やサービスを向上させます。

■ 社会教育施設の整備、サービス向上

誰もが安全で快適に利用できる社会教育施設の整備やサービスを向上させます。

## 第2次飯田市教育振興基本計画 中期4年間(R3～6)の取組(いいだ未来デザイン2028中期計画(R3～6)戦略計画)

重点目標 1 “結いの心”に根ざす教育を実践し、豊かな心とリニア時代を生きる力を育む  
(いいだ未来デザイン2028 基本目標3)

アクションプログラム③ 飯田コミュニティスクールを活かした地域・学校・家庭での教育の推進			
(1)	地域に誇りと愛着を抱き、将来の地域づくりを担い、支える人を育むため、幼少期から高校期までの継続的で系統的なキャリア教育を地域・学校・家庭が連携して進めます。		
(2)	小・中学校が掲げる「めざす子ども像」の実現に向け、地域・学校・家庭が学校運営協議会で課題を共有し、それぞれの役割を提案・相互承認し、連携して取り組みます。また、飯田コミュニティスクールの取組について、地域に向けて発信し周知を図るとともに、全市的な横展開を図ります。		
事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の取組方針
地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期から高等教育期まで一貫した地域人育成が展開できるよう協議会や研究会で研究・検討を行い、キャリア教育推進フォーラムでその取組の方向性を確認しました。発達段階を繋いで行くための取組や、高校における探究的な学びへの関わり方などをさらに研究・検討し関係者で共有して行くことが必要です。</li> <li>・飯田の学びの総合情報サイト「結いなびIIDA」の運用を進めました。しかしながら、様々な情報発信サイトがあったり、利用に苦手意識を持っている方が多かったり思うように活用されていない状況があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育推進協議会や、庁内横断的な連携会議を開催し、職域や分野を超えてキャリア教育の考え方を共有して取り組みます。また、関係機関・団体等が連携してキャリア教育推進フォーラムを開催します。</li> <li>・市内高等学校が求める探究学習の相談窓口の一元化による高校の学びを支援します。</li> <li>・「結いなびIIDA」の機能の一つである、知る・学ぶに搭載する情報を充実させてサイトの価値を高め、利用頻度の高い利用者とモデル的な取組を検討したりして、利用促進を図ります。</li> </ul>
飯田コミュニティスクール推進事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生の地域でのボランティア活動や地域の学校支援等に取り組みました。</li> <li>・特に中学生の地域でのボランティア活動が広がってきています。</li> <li>・親の就労等社会環境の変化から親子の触れ合う機会が少なくなり、家庭における教育力の低下が懸念されています。</li> <li>・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、連携・協働した地域づくり・学校づくりが求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「めざす子ども像」実現に向け、地域・家庭・学校が学校運営協議会で課題を共有し、三者が一体的に取り組みます。</li> <li>・各校の「学校だより」等により、学校運営協議会で話し合われたことや学校支援ボランティアの活動など、コミュニティスクールの取組を発信します。</li> <li>・各学校の特色を生かした「いいだCS協働活動(地域学校協働活動)推進事業」を推進し地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、子どもを核とした地域づくりを進めます。</li> </ul>

アクションプログラム⑤ 子どもの読書活動の推進	
(1)	はじめまして絵本プレゼントやセカンドブックプレゼントなどにより、乳幼児期の読みきかせを通じた親子のふれあい体験や幼児が絵本や物語を楽しむ機会を増やします。
(2)	小学生が本に関心を持ち自発的な読書が行えるよう支援し、読書習慣の定着を図ります。また図書館等を使って情報を収集し、選択・活用する力を、小中学校を通して段階的に育みます。
(3)	ムトスぷらぎ内に中央図書館のサテライト機能を設置し、高校生の読書や探究学習等を支援します。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
子ども読書活動推進事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7か月児家庭へ絵本をプレゼントする「はじめまして絵本」と4歳児(年中児)へ絵本をプレゼントする「おともだち絵本」についてアンケートを実施し、いずれも親子のふれあいや読みきかせの推進に効果をあげていることが確認できました。保育所等36園へ団体貸出を実施、分館貸出利用も含め28園で家庭への絵本の持ち帰りが行われています。</li> <li>・小学生の自発的な読書に向けて、学年別図書リスト「よむリス」の5年生版を市図書館と学校図書館が共同で作成、家庭へ呼びかけ、学校、分館等でも活用を行っています。</li> <li>・5月にムトスぷらざ内へ飯田駅前図書館を設置し、高校生に親しみやすい場所になるよう図書の展示や企画等を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめまして絵本」「おともだち絵本」事業を継続し、まだ絵本の家庭への持ち帰りを行っていない保育所等へも働きかけを行います。</li> <li>・学校図書館と共同で、6年生向け「よむリス」を作成し配布、これまで作成したリストもあわせて活用を図ります。また、学校図書館との連携・協力を強め、小中学生の自発的な読書活動に向けて取組みます。</li> <li>・駅前図書館を拠点に、高校生の読書や活動に向けて、高校司書会と連携しながら取組みます。</li> </ul>

重点目標 2 豊かな「学びの土壌」を活かした「学習と交流」を進め、飯田の自治を担い、可能性を広げられる人材を育む  
(いいだ未来デザイン2028 基本目標4)

アクションプログラム① 住民の主体的な学びあいの支援	
(1)	飯田市や市内各地区の自然、歴史、文化、産業といった地域資源を活用した学びや住民の関心に応える多様な学習を支援するとともに、地域課題の解決を目指す学習活動を推進します。
(2)	多文化共生社会を実現するため、多様な価値観や国際感覚を養うとともに、平和学習、人権教育を推進します。
(3)	ムトスぷらざを学習から実践に繋げるまちづくりの新たな拠点として整備します。また、多様な価値観を持った人々の交流・気づき・学びから地域の将来を担う人材を育成やムトスマちづくり活動を支援する取組を推進します。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の旧小笠原家書院建築400年を契機とした地域主体の取組について、地元プロジェクト委員会へ参画し、調査検討を始めました。</li> <li>・松尾公民館「古墳学習会」、毛賀史学会「遺跡学習会」、座光寺公民館「麻績の里体験学校」、史跡見学会など、地域の歴史・文化を学習する活動を支援しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度の旧小笠原家書院建築400年記念事業の実施に向け、地元プロジェクト委員会と連携して準備を進めていきます。</li> <li>・地域の歴史・文化等を学習する活動を、出前講座・展示、史跡現地の解説案内により支援します。</li> </ul>
歴史研究所事業	歴史研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「満洲移民」をテーマとした地域史研究集会、刊行した書籍をテーマとしたワークショップの開催ほか、各種講座の開催や学校・地域への講師派遣等により、市民や地域の学習を支援しました。</li> <li>・市民の主体的な学びの活動を担う人材の育成が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、調査研究の成果を地域に還元し、市民や地域の学びの要望に応え、次世代に継続できるような事業を行います。</li> </ul>

美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別展と連動した城下町サポーターの養成講座及び地域や公民館等と連携した出前講座や主催する各分野の講座開催により、地域を学習し、魅力を理解する機会としました。また、子ども美術学校に加え、中学校造形教室を新設しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き子どもたちの創造の可能性を高める講座等を行うと共に、調査研究の成果を講座等により、新たな発見や地域の魅力を学ぶ場を提供します。また、地域の学びや研究活動を支援します。</li> </ul>
図書館事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実行委員会主催の読書会交流会開催により、新たな人を読書会につなぐことができました。</li> <li>・主体的に運営に関わる担い手不足が課題になっています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・気軽に参加できる読書交流の場がつかれるように、引き続き支援します。</li> </ul>
図書購入・提供事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅前図書館へ高校生対象図書の移動にあわせ、中央図書館の蔵書を見直し図書の配置換えを行いました。</li> <li>・コロナ禍の休館で減少した分館の利用が、戻りつつはあるもののまだ少ない地区が多く、利用推進を図る必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各図書館のニーズに沿った図書購入を行うと共に、レファレンス(調査相談)対応や本の紹介により主体的な学びを支援します。</li> </ul>
多様な学習交流支援事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍だからコロナ禍であってもできる事を進めるといった方針で様々な学習活動を進めてきました。</li> <li>・コロナ禍で自治活動が制限されていたことから、改めて学習活動を通じ、人とのつながりを大切にしたい地域づくりが求められています。</li> <li>・公民館は、住民の主体的な学習活動を通じて住民自治の意識を育む役割を担ってきていますが、さらに多様な学びと交流の機会を提供することで、地域の課題解決に向けた事業展開や学習活動となるよう支援していきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民が主体的に企画運営していく課題解決に向けた各種学級講座を実施します。</li> <li>・芸術文化や伝統文化への理解を高め地域振興に繋がります。</li> <li>・郷土を学ぶ交流を通じてふるさと意識を醸成します。</li> <li>・健康学習や交流を通じて、自身の健康への関心を高めます。</li> <li>・環境に関心をもつための学級講座や保全活動を支援します。</li> <li>・人権平和、多文化共生学習を通して、平和を尊ぶとともに、多様性への理解を深めます。</li> <li>・人材を育成するために、小さな集団を大切に、それぞれが重なり合う活動となるよう支援します。</li> <li>・20歳成人が地区実行委員会の活動を通じて地域を学ぶとともに、地域への愛着やふるさと意識を醸成します。</li> </ul>
平和学習・人権教育推進事業	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満蒙開拓平和記念館を活用した市内小中学校の平和学習に6校521人、飯田市平和祈念館には1校24人の児童・生徒が参加し、平和の大切さを学びました。</li> <li>・飯田市平和祈念館を開館しました。祈念館の展示・活用を進めるため、検討委員会を立ち上げました。また、高校生若者平和・人権・多文化ゼミナールを7回開催し延69人が受講しました。</li> <li>・LGBTQなど新たな人権課題も出てきており、継続的に人権教育を進めていくことが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田市平和祈念館や満蒙開拓平和記念館を活用した、市内小中学校の平和学習支援や、高校生・若者を対象とした平和・多文化学習講座を行います。</li> <li>・飯田市平和記念館展示・活用検討委員会を開催し、祈念館の展示及び活用について、幅広い市民の意見をお聞きし、より良い祈念館となるように検討します。</li> <li>・飯田市平和祈念館の案内や収集した資料の整理を行います。</li> <li>・各地区や公民館等において、関係団体と連携した人権尊重に関する講座や講演会を開催します。</li> </ul>

高校生等次世代育成事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムトスぷらぎに創発コーディネーターを配置し、創発活動の支援を行いました。</li> <li>・高校の新学習指導要領では探究学習として「主体的で、対話的で、深みのある学び」の実現が求められています。</li> <li>・社会教育現場での取組や手法を学校教育における探究学習の実践に結び付けることができるような連携が必要です。</li> <li>・地域人教育の成果を他校や地域へ広げ、高校生の豊かな学びを支援していく必要があります。</li> <li>・住民自治や次世代育成の観点から、若者に対して多世代交流を意識した地域学習を行っていく必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ムトスぷらぎにおいて、創発コーディネーターを中心に多世代を対象に思いを形にできる支援を実施し、発意型創発事業に繋がるよう取り組みます。</li> </ul>
公民館維持管理事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年5月に飯田市公民館を丘の上結いスクエアに、橋南公民館をりんご庁舎に移転しました。</li> <li>・旧飯田市公民館に比べて多く利用があり、より使い易い施設となるように取り組む必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誰もが安全で快適に社会教育活動に取り組めるように施設管理を行います。</li> </ul>
公民館改修事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田市公民館と橋南公民館の移転に向けた施設整備を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の学びを支える施設が良好な状態で利用できるよう改修を行っていきます。</li> </ul>
図書館・管理運営事業	中央図書館	<p>重点目標 2 アクションプログラム⑤に記載</p>	
子ども読書活動推進事業	中央図書館	<p>重点目標 1 アクションプログラム⑤に記載</p>	

**アクションプログラム② 子どもの主体性、創造性、社会性、協調性、課題解決力などを育む学習の展開**

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | 飯田型キャリア教育を軸として、幼児期から高校まで、発達段階に応じた育ちを地域社会と学校教育が連携しながら取り組みます。   |
| (2) | 各高校の実情を踏まえ、地域人教育・学輪IIDAフィールドスタディ等、高校生の探究学習を支援し、ふるさとへの理解を深めていきます。また、ムトスぷらぎにおいて、高校生や若者の学習・交流活動や地域づくり活動を支援します。 |

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
-------	-----	--------------	------------

飯田コミュニティスクール推進事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生のボランティア活動を学校と連携して支援し、地域社会と学校教育が連携した子どもの育ちを支援する取り組みを実施しました。</li> <li>・小学生対象の体験活動に中高生がボランティアとして運営に携わるなど世代を超えた取り組みとなっています。</li> <li>・親の就労等社会環境の変化から親子の触れ合う機会が少なくなり、家庭における教育力の低下が懸念されています。</li> <li>・地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、連携・協働した地域づくり・学校づくりが求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の特色を生かした「いいだCS協働活動(地域学校協働活動)推進事業」を推進し地域全体で子どもたちの成長を支えるとともに、子どもを核とした地域づくりを進めます。</li> </ul>
乳幼児親子学習交流支援事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区において乳幼児学級を開催し、親同士の交流や子どもの様々な体験の機会となりました。昨年に引き続き、父親が参加する講座を設け、子どもとの触れ合い、育児への理解を図りました。</li> <li>・親の早期の職場復帰等、社会環境の変化により講座への参加が減少傾向にあり、地区内での子育て世代の仲間づくりができにくい状況となっています。</li> <li>・親の悩みに応え、子育ての情報や知識を習得してもらうため、保健師と連携し、ニーズにあった講座運営を行う必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区において、就学前の子供を持つ親同士が交流する機会を提供し、悩みの相談、子育てに関する情報交換や知識を得る活動を支援します。</li> <li>・学級講座の中で、地域住民の方を講師に迎える等、地域とつながる機会を創出します。</li> <li>・各地区の環境を生かし、0歳～3歳まで発達段階に応じた様々な体験活動を実施します。</li> <li>・乳幼児学級に父親の参加の機会を設けます。</li> </ul>
高校生等次世代育成事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・着火型創発事業として「高校生講座 東北スタディツアー」を実施しました。震災復興に携わる住民との交流を通して、自身の行動や生き方を考える機会を設けています。</li> <li>・飯田OIDE長姫高等学校の地域人教育や飯田風越高等学校の結プロジェクトや飯田女子高等学校など探究学習の支援を行っています。</li> <li>・高校の新学習指導要領では探究学習として「主体的で、対話的で、深みのある学び」の実現が求められています。</li> <li>・社会教育現場での取組や手法を学校教育における探究学習の実践に結び付けることができるような連携が必要です。</li> <li>・地域人教育の成果を他校や地域へ広げ、高校生の豊かな学びを支援していくことが必要です。</li> <li>・住民自治や次世代育成の観点から、若者に対して多世代交流を意識した地域学習を行っていくことが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田の自治の仕組みを理解するとともに、日常生活の成り立ちを地球規模で観る力を養い、地域や世界とのつながりを意識しながら自身の行動や生き方を考える高校生講座を年間を通じて実施します。</li> <li>・各高等学校の実情を踏まえた探究学習や高校生の地域での学びを支援します。</li> <li>・ムトスぶらぎにおいて、高校生や若者による共に学び交流し合う機会をつくり、創発活動に向かっていくための学習支援を行います。</li> </ul>

地育力向上連携推進事業	生涯学習・スポーツ課	重点目標 1 アクションプログラム③に記載
-------------	------------	--------------------------

アクションプログラム③ 飯田の価値と魅力の学びと発信

- (1) 地域の自然と文化や先人の営みなどを明らかにする学術研究を学輪IIDA等の地域外の知見も活用しながら進めます。また、様々な技術を活用し魅力ある展示や講座により研究成果を地域に還元するとともに、SNSなどを活用しながら飯田の魅力として発信します。
- (2) 歴史研究所、美術博物館、図書館、公民館等の関係機関が連携して、市民学習・研究活動を支援します。また、「伊那谷の自然と文化」の研究と地域の価値や魅力を次世代に繋げる新たな人材の育成を、研究団体とともに進めます。
- (3) 考古博物館で史跡「飯田古墳群」や市内全域の考古資料を用い、飯田市の魅力を発信できるよう取組を進めます。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>考古博物館に保管している遺物を活用できるようにするため、古代の鎧「短甲」(2領)を保存修理しています。</li> <li>飯田古墳群を紹介する考古博物館と史跡現地をつなぐ「歴史探検隊」(博物館見学・体験～飯沼天神塚古墳)を実施し、参加者に理解を深めていただきました。</li> <li>「伊那谷の自然と文化・学びあい講座」で、「城下町飯田」の価値や魅力について、関係課館所専門職員の研究成果をリレートークし、参加者と共有しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>考古博物館の魅力を高められるように、保存修理した「短甲」を展示公開するとともに、「短甲」出土の意味、価値が学習できる講演会、見学会を実施します。</li> <li>考古博物館における飯田古墳群のガイダンス機能が高められよう、史跡現地をつなぐ体験学習の機会を提供していきます。</li> </ul>
美術博物館教育普及・活動支援事業	美術博物館	重点目標 2 アクションプログラム①に記載	
美術博物館展示公開事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別展城下町飯田と飯田藩、特別陳列南アルプスジオパーク・ジオサイトを巡る等地域の自然や文化芸術、歴史などこれまでの調査研究の成果を展示公開しました。</li> <li>調査研究の成果を効果的に展示し、地域の魅力を発信する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査研究の成果を活かし、時機に照らしたテーマを設定した展示を行い「伊那谷の自然と文化」の魅力を発信し、学びに繋がります。</li> </ul>
美術博物館プラネタリウム運営事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナの感染状況に応じた対策を行いながら投影を再開しました。幼保、小・中学校の学習来館を受け入れ、オリジナル番組を活用して地域の魅力を発信しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い世代が楽しめる番組投影や星空観望会を行い、学習来館の計画段階から関わりを持ち、天文教育と地域の魅力を発信していきます。</li> </ul>
歴史研究所事業	歴史研究所	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文書講座を美術博物館と共催して開催しました。</li> <li>地元研究団体、学校、公民館への講師派遣等により、市民や地域の学習を支援しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>美術博物館と共催した古文書講座やトピック展示など、調査研究の成果を地域に還元し、市民の学びの要望に応え、次世代に継続できるよう事業を行います。</li> </ul>

多様な学習交流支援事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今田人形保存会・黒田人形保存会・霜月祭保存会を支え、継承活動を支援しました。</li> <li>・コロナ禍で自治活動が制限されていたことから、改めて学習活動を通じ、人とのつながりを大切にしたい地域づくりが求められています。</li> <li>・民俗芸能も担い手の高齢化や減少が課題となっていますが、地域個性としての民俗芸能の継承を通じて、人と人とのつながりを大切にしたい支援が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保存会活動を支援し後継者育成に繋がります。</li> <li>・芸術文化や伝統文化への理解を高め地域振興に繋がります。</li> <li>・郷土を学ぶ交流を通じてふるさと意識を醸成します。</li> <li>・人材を育成するために、小さな集団を大切に、それぞれが重なり合う活動となるよう支援します。</li> </ul>
図書館事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那谷地名講座やビジネス支援講座など、研究団体や地元企業と協働した講座を開催し、地域を学ぶ機会を提供しました。</li> <li>・地域の学びを深められるよう、各館所で行う講座等で資料リスト提供や図書展示を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元の研究団体と協働の講座を開催し地域の学習や研究を支援します。</li> <li>・高校生や若い世代に向けた地元を調べ発信する企画を実施し、地元への興味を広げます。</li> <li>・ホームページに郷土資料紹介を掲載し、情報発信します。</li> </ul>
埋蔵文化財調査事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒田大明神原B遺跡の発掘調査中に、「家族で発掘たいけん教室」を実施し、地域の歴史、発掘調査の面白さ、発掘調査の必要性を知っていただきました。</li> <li>・発掘調査の成果について、見学者への解説、現地見学会の開催、文化祭等の展示を通して公開しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共事業、個人住宅、民間開発に伴う発掘調査や成果を整理し、報告書等により記録保存します。</li> <li>・発掘調査に際しては、調査成果をはじめ、その遺跡の価値や魅力を伝える手段を検討し、公開・発信していきます。</li> </ul>
飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡飯田古墳群の追加指定に向け、令和3年度までに実施した、姫塚古墳(松尾)、大塚古墳(竜丘)の範囲確認調査成果を整理し、報告書へ記録保存しました。</li> <li>・久保尻遺跡、大塚古墳(竜丘)の調査成果を、地元文化祭で展示公開・解説し、地域の皆さんに知っていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡飯田古墳群の追加指定に必要な実態を把握するため、馬背塚古墳(竜丘)の範囲確認調査を実施するとともに、調査成果を公開活用します。</li> </ul>
恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恒川史跡公園整備の基礎となる、正倉院エリア発掘調査を完了し、調査成果を見学会等により速報しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡恒川官衙遺跡正倉院エリアにおける調査成果を整理し、報告書により記録保存するとともに、恒川史跡公園整備や、公開活用します。</li> </ul>

アクションプログラム④ 伝統文化、文化財の保存・継承・活用の推進	
(1)	地域にある文化財の魅力や価値を市民が学ぶ活動を支援するとともに、継承し活用する活動を支援します。また、地域の文化財に関する学びの支援とともに、史跡・名勝はじめ地域での文化財活用の取り組みを支援します。
(2)	南信州民俗芸能継承推進協議会との協働連携や各保存会への活動支援を通じて、遠山霜月祭、伝統人形芝居、獅子舞などの魅力発信と後継者育成に努めます。また、遠山の霜月祭のユネスコ無形文化遺産登録に向けた市民の取り組みを支援します。
(3)	名勝天龍峡・恒川官衙史跡公園整備事業を通じた「2000年浪漫の郷」づくり・史跡飯田古墳群の活用において、学習会や体験ツアーを開催するとともに、市民ガイドなど市民自ら発信できるよう取り組みます。
(4)	北田遺跡公園の縄文時代復元住居の改修を地域と協働して取り組みます。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
上村山村文化資源保存伝習施設管理運営事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者と連携して管理運営を行いました。</li> <li>・展示構成を組み替えて、一部展示更新を行いました。</li> <li>・他の施設や団体等との連携による多目的な利用により地域活性化に繋げることが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、霜月祭りの展示を中心に地域の自然や文化の魅力を発信します。</li> <li>・資料館にこだわらない地域活性化に繋げる施設の多目的な活用を図ります。</li> </ul>
南信濃民芸等関係施設管理運営事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術博物館の巡回展示や各分野の講座を開催しました。</li> <li>・公民館や地域団体等との連携による多目的な利用により地域活性化に繋げることが必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的な巡回展示や講座の開催により、地域の自然や文化の魅力を発信し、地域の学びの場を提供します。</li> <li>・公民館や地域団体と連携し、施設の多目的な活用を図ります。</li> </ul>
美術博物館資料調査研究・収集保管事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公開展示や教育普及事業などの博物館活動を行うために、美術博物館のテーマである「伊那谷の自然と文化」に関する作品・資料の収集、登録、展示につなげる継続的な調査研究活動を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続的に調査研究と収集保管事業を行うと共に、工事休館期間を活用し、整理登録作業を重点的に進めます。</li> </ul>
多様な学習交流支援事業	飯田市公民館	<p>重点目標 2 アクションプログラム③に記載</p>	
人形劇のまちづくり事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第40回伊那人形芝居公演は、コロナ禍のため無観客上演となりましたが、南信州民族芸能継承推進協議会の共催や、南信州俗芸能パートナー企業の協力により開催し、上演演目をYouTubeによる配信を行いました。</li> <li>・伝統人形劇を含む人形劇関連の英語版HPを作成し、国内外へ情報を発信しました。</li> <li>・コロナの感染対策をしながら、人形遣い、太夫、三味線の稽古を師匠を招き研修会を再開することができました。</li> <li>・高齢化による後継者不足が課題です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伊那人形芝居保存協議会と連携し、各保存会での研修会や公演活動への支援を行います。</li> <li>・飯田人形浄瑠璃振興会の実施する”人形浄瑠璃”の魅力面白さ再発見プロジェクトにより、小中高校でプロの技芸員による実演やワークショップを行い、若い世代に興味や関心をもってもらえるよう支援を行います。</li> </ul>

文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水佐代獅子塚古墳(松尾)の修復、長石寺(竜丘)本堂彫刻の修理、鳩ヶ嶺八幡宮(松尾)本殿の環境整備に補助金を交付し、地域・保存団体等の保存継承活動を支援しました。</li> <li>・地域協働で北田遺跡公園の復元家屋改修事業に取り組むとともに、公園を身近に感じていただけるように、茅葺作業体験など、地元小学校が参加できる機会を提供しました。</li> <li>・「日本の神楽」のユネスコ無形文化遺産登録に向け、霜月祭保存団体等と共に、全国神楽継承・振興協議会に参加しました。</li> <li>・「名勝天龍峡の魅力再発見(川下り舟編)」として、地域の方々を対象とした、座学・体験乗船を実施し、天龍峡の魅力や楽しみ方を知っていただきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の皆さんが文化財を学ぶ活動を支援するとともに、保存継承活動への支援に取り組みます。</li> <li>・「日本の神楽」のユネスコ無形文化遺産登録に向け、全国推進団体、霜月祭保存会と連携して推進します。</li> <li>・名勝天龍峡の価値や魅力を、体験学習できる機会を提供します。</li> </ul>
恒川遺跡群保存活用事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス施設基本設計、展示基本計画を策定するため、外部等専門委員会、地元推進会議で検討・整理し、文化庁・県との協議を進めています。</li> <li>・「恒川史跡公園・清水エリア」を供用開始し、毎月1回、地域と協働で管理を行い、史跡公園の維持、体制の研究に取り組みました。</li> <li>・地元案内人と協働して史跡見学者を案内するなど、案内のノウハウを蓄積しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス施設実施設計を、外部等専門家の指導を受けながら、地元推進会議で検討し策定します。</li> <li>・整備の進捗に合わせ、史跡公園の運営管理、案内人が円滑に始動できるように、地域や公民館等と連携して、遺跡、史跡公園への理解を深める学習会、案内人の発掘・育成に取り組みます。</li> </ul>
飯田古墳群保存活用事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域と協働して史跡飯田古墳群(高岡第1号古墳・塚原二子塚古墳・馬背塚古墳等)の環境整備、史跡学習会等を実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡所在地の地域・保存団体と連携して、環境整備や学習活動、史跡案内人の発掘・育成活動に取り組みます。</li> </ul>

アクションプログラム⑤ 社会教育施設の整備、サービス向上

- |     |   |
|-----|---|
| (1) | 地域コミュニティの拠点である公民館や、美術博物館、図書館など社会教育施設の計画的な改修・整備を進めます。                                |
| (2) | 公民館、文化会館について、オンラインでの申請手続きから許可証の発行までが可能なシステムの構築を進めます。                                |
| (3) | 飯田市公民館の丘の上結いスクエアへの移転について市民の皆さんの意見を聞きながら進めるとともに橋南公民館の地域交流センター(りんご庁舎)への移転に向けて調整を図ります。 |
| (4) | 地域の貴重な資料等の収蔵場所の確保について検討を進めます。   |

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
文化財保護事業	文化財保護活用課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・考古博物館空調設備の改修をはじめ、文化財関連施設の維持に努めました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、所管施設の維持管理に努めて参ります。</li> </ul>

公民館維持管理事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年5月に飯田市公民館の丘の上結いスクエアへの移転、橋南公民館のりんご庁舎への移転を行いました。</li> <li>・公共施設予約システムを令和4年10月より稼働しました。</li> <li>・公共施設予約システムの安定稼働に向けた取り組みを進める必要があります。</li> <li>・経年劣化に伴う破損や法定点検等で指摘された不良個所について迅速に対応する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21公民館を誰もが安全で快適に社会教育活動に取り組めるようにサービスの向上に努めます。</li> <li>・施設利用者のサービス向上のために施設予約システムを運用します。</li> <li>・各公民館においてフリーWi-Fiの環境を提供します。</li> <li>・設備の法定検査等を行い施設の適切な維持管理を行います。</li> <li>・小規模な修繕は迅速に行います。</li> </ul>
図書館管理運営事業	中央図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中央図書館東側外壁改修工事、2階の一部空調設備更新工事、エレベーター改修工事、中2階照明LED化工事を行いました。</li> <li>・経年劣化による施設設備修繕が増加してきています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、中央図書館空調設備更新工事、書架表示照明LED化工事、上郷図書館トイレ洋式化工事など、計画的な改修や環境整備を進めます。</li> </ul>
美術博物館管理事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設等総合管理計画に則り、展示室の空調・照明管理装置の整備及び柳田館のコロナ感染対策機器の設備を行いました。</li> <li>・施設の長寿命化と来館者の安心安全を図るため計画的な施設の改修整備が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心安全な施設利用のため、施設等総合管理計画に則りロビー天井の耐震補強工事及び照明機器LED化工事など、施設の長寿命化にむけた計画的な改修整備を進めます。</li> <li>・改正博物館法に対応し、収蔵場所確保に向けた検討をしていきます。</li> </ul>
公民館改修事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県公民館の電気設備・救助袋取替・舞台幕交換・ホール通路床改修を行いました。</li> <li>・龍江公民館の屋根外壁改修を行いました。</li> <li>・座光寺公民館のトイレ改修を行いました。</li> <li>・羽場公民館の照明をLED化しました。</li> <li>・龍江公民館大会議室・川路公民館図書室の空調を改修しました。</li> <li>・老朽化が進んでいる公民館の必要な改修については、飯田市教育委員会施設等総合管理計画に基づき、長期的な視点から計画的に実施する必要があります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各公民館の照明器具のLED化、トイレ洋式化について計画的に改修や環境整備を進めます。</li> </ul>

文化会館等管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年10月からオンラインによる公共施設予約システムの運用を開始しました。これにより、ネット回線を通じて施設の空き状況の確認や会議室の予約が常時可能になり、利用者の利便性が向上しました。また、空き状況等の問い合わせが減少し、業務の効率化につながりました。</li> <li>・トイレの洋式化を文化会館1か所、人形劇場2か所行い、施設利用時の利便性が高まりました。</li> <li>・施設設備の法定検査や日常的な点検を実施し、必要な箇所は修繕を行いました。今年度は特にホール玄関前の段差解消と周辺環境を整備しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予約システムからの申込みについて、定期的に会館を利用しての団体の利用登録が少ないため、次回利用申込み時に登録の呼び掛けを行う等システム利用の普及を図っていきます。</li> <li>・経年劣化している人形劇場の音響設備を整備するため、ワイヤレスマイクシステムの更新を予定しています。</li> </ul>
-------------	------	--	--

### 重点目標 3 文化・スポーツを通じて人と地域の輝き・うるおいをつくる

#### (いいだ未来デザイン2028 基本目標5)

アクションプログラム① 「人形劇のまちづくり」の推進			
(1)	みんなが仲間として参加できるいいだ人形劇フェスタの開催に向け支援します。		
(2)	市民が年間を通じて人形劇を観劇する機会、竹田人形館及び川本人形美術館での鑑賞や体験の機会を提供します。		
(3)	学校・保育園等で行われる人形劇活動や市民が演じることを楽しむ創造活動を支援します。		
(4)	AVIAMA(人形劇の友・友好都市国際協会)の情報発信や、シャルルヴィル・メジール市など人形劇でつながる都市市民が交流する機会づくりをオンラインツールの活用で支援し、その取組を広く発信していきます。		
(5)	伝承される人形浄瑠璃を保存、継承するための活動を支援します。		
事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度取組方針
人形劇のまちづくり事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスタ2022は、新型コロナ感染症対策を講じて準備を進めて来ましたが、南信州地域も含め全国的に感染が拡大したため、開催直前で急遽開催が中止となりました。</li> <li>・いいだ人形劇センターとの共催により、定期公演を始めとする人形劇の観劇の機会、活動発表の機会や、人形づくりのワークショップによる体験の機会を年間を通して提供しました。</li> <li>・子ども達に、人形劇をより身近に感じてもらうため、幼稚園や小学校への巡回公演を実施しました。(31園・学校)</li> <li>・地元小学校とSVM市の小学校とオンラインによる文化の交流を行いました。</li> <li>・新型コロナの感染症法上の位置づけが代わるため、感染対策を緩和しつつ安心安全な開催方法の検討が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェスタ2023は、今年こそは、いっぱい笑顔に会いたい！「みんなの笑顔 まつとるに！」をテーマに、全国からの劇団のほか、友好提携を結んでいる春川人形劇フェスティバル(韓国)と雲林国際人形劇フェスティバル(台湾)から推薦された劇団も迎え、再び全国から笑顔が集まるフェスタをつくっていきます。</li> <li>・令和4年に引き続き、地元小学校とSVM市の小学校とオンラインによる文化の交流を行います。</li> <li>・教育現場での、人形劇の観劇や人形劇制作のための講師派遣を行い、創造力の育成に取り組めます。</li> </ul>

竹田人形館管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・隣接する元善光寺の御開帳に合わせ多くの地域内外からの来館者を迎えることができました。</li> <li>・地元の小学校の課外活動や公民館活動として来館いただき、伝統人形芝居として糸操りの魅力を伝えることができました。</li> <li>・近隣の宿泊施設での実演を再開することができ、県外観光客へのPRを行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人形の展示の鑑賞だけでなく糸操り人形の実演による来館者の満足度の向上に、引き続き努めて行きます。</li> <li>・地元地域や竹田人形座竹の子会との連携による事業(麻績の里桜祭りや初春を寿ぐ竹田人形館の開催)を活用し、多くの市民に竹田人形館を知ってもらおう取組を行います。</li> <li>・いいだ人形劇フェスタと連携し、受け継がれていく「伝統人形芝居」として伝統人形芝居公演等を開催します。</li> </ul>
川本人形美術館管理運営事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開館15周年を記念し、開館以来となる川本喜八郎のアニメーション作家としての側面を掘り下げる企画展「人形アニメーションの世界」を開催しました。</li> <li>・コマ撮りワークショップやくみ割り人形展など、幅広い層へのアプローチとした企画展を開催しました。</li> <li>・地元市民へのアプローチとして、橋南地区との試行事業「水引細工体験学習」をいいだ丘のうえ朝市と同日開催しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋谷区と連携した、人形の交流(三国志と平家物語)による多様なターゲット層へのアプローチを行っています。</li> <li>・地元地域と連携し、丘の上の回遊に向けた取組を行います。</li> <li>・季刊誌やHP,SNSを活用した情報を発信します。</li> <li>・2025年の川本喜八郎生誕100年に向けた準備を行います。</li> </ul>
多様な学習交流支援事業	飯田市公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き小中学生の発表の場として学校人形劇の祭典を開催しました。いいだ人形劇フェスタが中止となる中で、飯田市公民館と山本公民館の二会場で8校の発表を行いました。</li> <li>・コロナ禍における地区公演のあり方を考え、開催に向けて準備をしてきましたが、残念ながら中止となりました。しかし、学校人形劇の祭典を開催するなどの取組みを開催するなどコロナ禍であってもできる事を考えてきました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区公演の運営を中心にいいだ人形フェスタを支えています。</li> </ul>

アクションプログラム② 文化・芸術の鑑賞や市民の主体的な文化芸術活動の展開を支援	
(1)	「菱田春草」をはじめとした地元ゆかりの作家の作品の魅力を紹介します。
(2)	あらゆる年代の市民が多様な舞台芸術を鑑賞できる機会を設けます。
(3)	市民が取り組む舞台芸術の創造活動を支援します。
(4)	オーケストラと友に音楽祭、伊那谷文化芸術祭など市民が舞台芸術を鑑賞し、自ら発表できる機会を支援します。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
美術博物館展示公開事業	美術博物館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春草作品の常設展示、館蔵作品や地元ゆかりの作家の作品を継続的に紹介すると共に地元作家の作品を展示しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・春草をはじめとした地元ゆかりの作家の作品を継続的に紹介すると共に、特別展と長野県展を行います。</li> </ul>

文化会館文化芸術事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施にあたっては、出演者、スタッフ、観客等関係者の感染対策を行い、「スキマスイッチ・コンサート」「にこにこステージ」「コンサート ア・ラ・カルト」等を実施しました。</li> <li>・舞台芸術創造支援事業については、要件の緩和等により新たな団体に支援を行うことができました。</li> <li>・オーケストラと友に音楽祭については、音楽クリニックの中学生コースが中止になりましたが、ほぼ例年通りの内容で開催することができました。伊那谷文化芸術祭は観客数や控室等の制限により4日間開催できました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、新型コロナウイルス感染症が感染症法の5類に変更されることから、事業実施については感染対策を検討し、より多くの市民に舞台芸術を鑑賞いただくよう計画していきます。</li> </ul>
------------	------	--	---

アクションプログラム③ 新たな文化芸術活動の拠点づくり

(1) 新文化会館の建設に向けて、市民参加による構想・計画づくりを進めるとともに、駐車場や交通アクセス、周辺環境などを踏まえた建設適地の検討を行います。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の取組方針
文化施設整備事業	文化会館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・6月に新文化会館整備検討委員会を設置し、基本理念・基本構想の検討に着手しました。</li> <li>・年度内に5回開催した整備検討委員会では、公募委員や利用団体、分野選出の市民委員、学識委員から多様なご意見が出され、仮の基本理念の設定を行いました。</li> <li>・議会からは、市民の声が検討委員会や市民ワークショップに反映される仕組みや運営を求められています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新文化会館の建設に向けて、市民参加による構想・計画づくりを進めるとともに建設適地の検討を行います。</li> <li>・多くの市民が注目する事業であるため、定期的なニュースレターの発行や市のウェブサイトで検討状況を公開するなど、市民の理解を得ながら事業を進めます。</li> </ul>

アクションプログラム④ 市民のスポーツ活動・コミュニティづくりの支援、スポーツイベントの開催

- (1) スポーツ推進委員を中心に、コロナ禍での運動習慣の定着に向けてウォーキングを推進するとともに、障がい者や高齢者を含めた多世代が地域で交流できるポッチャ等のニュースポーツの普及に取り組みます。
- (2) 運動好きの子どもを増やし、体力・運動能力の向上をめざすため、園児や保護者を対象としたコーディネーショントレーニングを実施するとともに、学校での一校一運動に取り組みます。
- (3) 飯田やまびこマーチや風越登山マラソン大会が多くの市民に参加いただく機会になるように取り組みます。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の取組方針
-------	-----	--------------	------------

市民スポーツ推進事業	生涯学習・スポーツ課	<p>・4/23～24に飯田やまびこマーチを3年ぶりに通常開催し、883名の県内外の参加者、263名のボランティアの参加を得ました。また、日常的なウォーキングの取組として、各団体と連携して月いちウォークを3回実施しました。</p> <p>・飯田市スポーツ推進委員会が中心となり11/20にニュースポーツフェスティバルを開催し、障がい者や高齢者を含めた誰もが楽しめるポッチャの普及に取組みました。また、各地区においても公民館と連携し講習会や大会等を実施しました。</p> <p>・10/23風越登山マラソン大会を3年ぶりに開催し、コロナ禍での市民のスポーツ機会の提供、風越山への関心を高めました。</p> <p>・運動好きの子どもを育てる基礎となる幼児期の運動プログラムとして、コーディネーショントレーニングを4保育園、川路小学校で実施しました。また、園児や小学校低学年の親子を対象としたコオディネーショントレーニングを実施しました。</p> <p>・依然として、子どもの体力は低下傾向であり、幼少期からスポーツに親しむ習慣を定着していく必要があります。</p>	<p>・スポーツ推進委員と連携して、日常的なウォーキングや多世代が交流できるポッチャ等のニュースポーツの普及に取り組み、市民の運動習慣の定着をめざします。</p> <p>・飯田やまびこマーチや登山マラソン大会を開催し、多くの市民に参加いただくとともに、県内外へ飯田市を広くPRしていきます。</p> <p>・子どもの体力・運動能力向上のため、園児や保護者を対象としたコーディネーショントレーニング教室を実施します。また、幼少期の運動遊びの重要性を理解した指導者を増やすため、保育士や教員を対象とした研修会を実施します。</p>
------------	------------	--	---

アクションプログラム⑤ 競技スポーツ人口の拡大と競技志向の向上

- (1) 競技スポーツへの関心を高めるため、飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携してスポーツ教室等を開催し、トップアスリートのプレーに触れ交流・指導を受けられる機会を提供します。
- (2) 飯田市スポーツ協会や民間スポーツクラブと連携し、各競技団体の活動や指導者の育成を支援します。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
競技力向上支援事業 ※ 令和5年度より 競技スポーツ振興支援事業に名称変更	生涯学習・スポーツ課	<p>・競技力向上や競技人口の拡大をめざす飯田市スポーツ協会の各競技団体が開催する教室や講習会、指導者育成のための研修会等の活動を支援しました。</p> <p>・野球やサッカー競技等の民間スポーツクラブが実施する教室や試合観戦を支援し、市民が一流選手のプレーに触れる機会を提供しました。</p> <p>・市長表敬等により、全国や県の大会に出場する選手の活躍を激励するとともに、ホームページや報道により広く市民に発信することで、市民のスポーツへの関心を高めました。</p>	<p>・競技力の向上、競技人口の拡大に取り組む飯田市スポーツ協会の運営を支援するとともに、民間スポーツクラブ等とも連携して、スポーツ教室の開催、ゲーム観戦など一流のプレーに触れ交流できる機会を提供します。</p> <p>・指導者の資格取得など、競技団体の活動や指導者の確保・育成の取組を支援します。</p> <p>・中央道沿線都市親善スポーツ大会の開催や県縦断駅伝競走大会、市町村対抗駅伝競走大会等への参加を通じて、競技スポーツへの関心を高めます。</p> <p>・全国や県の大会での選手の活躍を激励し、ホームページ等で広く市民に発信します。</p>

アクションプログラム⑥ 中学生期の多様なスポーツ環境の充実

- (1) 民間や地域のスポーツクラブに加え、全市型競技別スポーツスクールを開催し、指導体制を含めた地域におけるスポーツ環境の充実に取り組みます。
- (2) 筑波大学アスレチックデパートメントと連携して、ウェルビーイング※を目指したスポーツ活動の実現に向けて、部活動の活動運営の指針作りとそれに基づく実践研究を進めます。また、適正なスポーツ活動の推進に向けて、保護者や地域の指導者を対象にした研修会を開催します。  
※ウェルビーイング:心も体も健康で幸せな状態 楽しい、熱中する、仲良く、充実感を感じる、成長する等のさまざまな欲求を踏まえた部活動の運営
- (3) 放課後の部活動を行わない期間(「冬季ジブン・チャレンジ期間」)の過ごし方について、生徒が具体的な目標をもって、やりたいことや伸ばしたいことに挑戦できるよう支援します。
- (4) 中学校の部活動については、「飯田市中学校部活動の活動指針」に基づき、取り組みます。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針
市民スポーツ推進事業 ※ 令和5年度より 本事業の一部を文化・スポーツ活動の体制整備事業として分割する	生涯学習・スポーツ課	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飯田市スポーツ協会と連携して、中学生が様々な種目に触れる体験スクールと、技能を高める競技力向上スクールを実施しました。(16種目20講座のうち9種目開設、1月末現在 延べ講座数150回、登録者164人延べ参加者数991人)</li> <li>・筑波大学ADとの連携により、生徒の心身のバランスに配慮した中学校部活動の適正化と生徒の主体性を大切にした「冬季ジブン・チャレンジ期間」を11月～1月に位置づけ、全中学校で取り組みました。(モデル実践校竜峡中学校、教員対象研修会の開催)</li> <li>・またこの期間中、日頃スポーツ活動をしている生徒自身が自己管理できる力を育む取組として、スポーツ外傷・障害の予防研修会を2/28に実施しました。</li> <li>・生徒が主体となる部活動運営モデル事業として、7～9月に、東中、西中、旭ヶ丘中の部活動部員、顧問を対象とした研修会を開催しました。</li> <li>・部活動地域移行を見すえ、土日の中学生の地域における文化・スポーツ環境の充実に向けた取組が必要です。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学生が様々な競技種目を体験できる機会として、飯田市スポーツ協会と連携して全市型競技別スポーツスクールを開催します。また、社会教育機関等と連携して文化系講座を提供します。</li> <li>・学校部活動の地域移行をふまえて、地域における文化・スポーツ環境の充実を図るため、学校や関係団体等と協議検討する場を設けるとともに、学校と地域をつなぐコーディネーターを配置して、将来を見据えた体制づくりを進めます。</li> <li>・学校や筑波大学アスレチックデパートメントと連携し、生徒の主体性を育む取組みや指導者育成を進めます。</li> <li>・学校部活動の適正化や地域移行の目的について、説明会や研修会を通じて、保護者や地域指導者の意識を醸成します。</li> </ul>

アクションプログラム⑦ スポーツ施設の整備、サービス向上

- (1) 市民がスポーツ施設を安全で快適に利用できるために、計画的に体育施設の改修を進めます。また、グラウンドの芝生化について、スポーツ協会や競技団体と協議し検討を進めます。
- (2) 体育施設について、オンラインで申請手続きから許可書の発行までが可能なシステムの構築を進めます。

事務事業名	主管課	令和4年度の成果及び課題	令和5年度の実行方針

<p>体育施設等維持管理・整備事業</p>	<p>生涯学習・スポーツ課</p>	<p>・管理人や専門業者による施設設備の定期的な点検や教育委員会施設等総合管理計画に基づき、鼎体育館屋根改修工事、飯田市武道館他15施設のトイレの洋式化等改修工事、競泳自動審判器の整備を実施しました。施設の老朽化が進んでおり、改修等計画的に進めていく必要があります。</p> <p>・グラウンドの芝生化について、スポーツ協会や競技団体と会議を行い、利用状況の把握や検討を行いました。</p> <p>・オンライン予約システムについて、10月1日から運用を開始しました。</p>	<p>・教育委員会施設等総合管理計画に基づき、武道館屋根外壁改修工事、天龍峡テニスコート夜間照明整備、照明LED化、競泳自動審判器更新、10施設のトイレ改修等体育施設の改修・整備を進めます。</p> <p>・安全な施設の利用環境を提供するため、施設・設備の保守点検及び施設管理人による日常的な管理を実施します。</p>
-----------------------	-------------------	---	---

## 令和5年度 社会教育関係団体へ交付を予定する補助金

補助金名	補助の目的	交付団体	補助金見込額 (円)	担当課
理科実験ミュージアム運営事業補助金	科学実験を通して、科学や理科の楽しさや不思議さを学ぶことで、興味・関心を持てるようになる人材の育成	南信州飯田おもしろ科学工房	1,050,000	生涯学習・スポーツ課
文化財保護事業費補助金	重要無形民俗文化財「遠山の霜月祭」の後継者育成	上村遠山霜月祭保存会 遠山霜月祭保存会	560,000	文化財保護活用課
歴史研究活動助成金	歴史研究活動を行う人材の育成	公募を行い交付対象とする、歴史研究活動を行う団体又は個人	200,000	歴史研究所
伊那谷の自然と文化研究事業補助金	伊那谷の自然と文化に関する調査研究を奨励し、地域の学術文化の振興を図る	公募を行い交付対象とする、市内に在住する個人又は市内に事務局を置く団体	400,000	美術博物館
飯田市伝統人形芝居振興事業補助金	指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要な事業に対する補助金	今田人形座	532,000	文化会館
飯田市伝統人形芝居振興事業補助金	指定文化財の伝承者の養成及び公開のために必要な事業に対する補助金	黒田人形保存会	532,000	文化会館
飯田市市民舞台芸術創造支援事業	市民の生き生きとした暮らしと、世代を越えた感動と共感のある豊かな暮らしをつくる。	市内で活動するアマチュア舞台芸術団体及びその連合体	970,000円	文化会館

# 「ムトスぷらざ」活動報告

「ヒト・コト・モノ」が集まる創発の場

みつける つながる 育てる・共感する 実現する



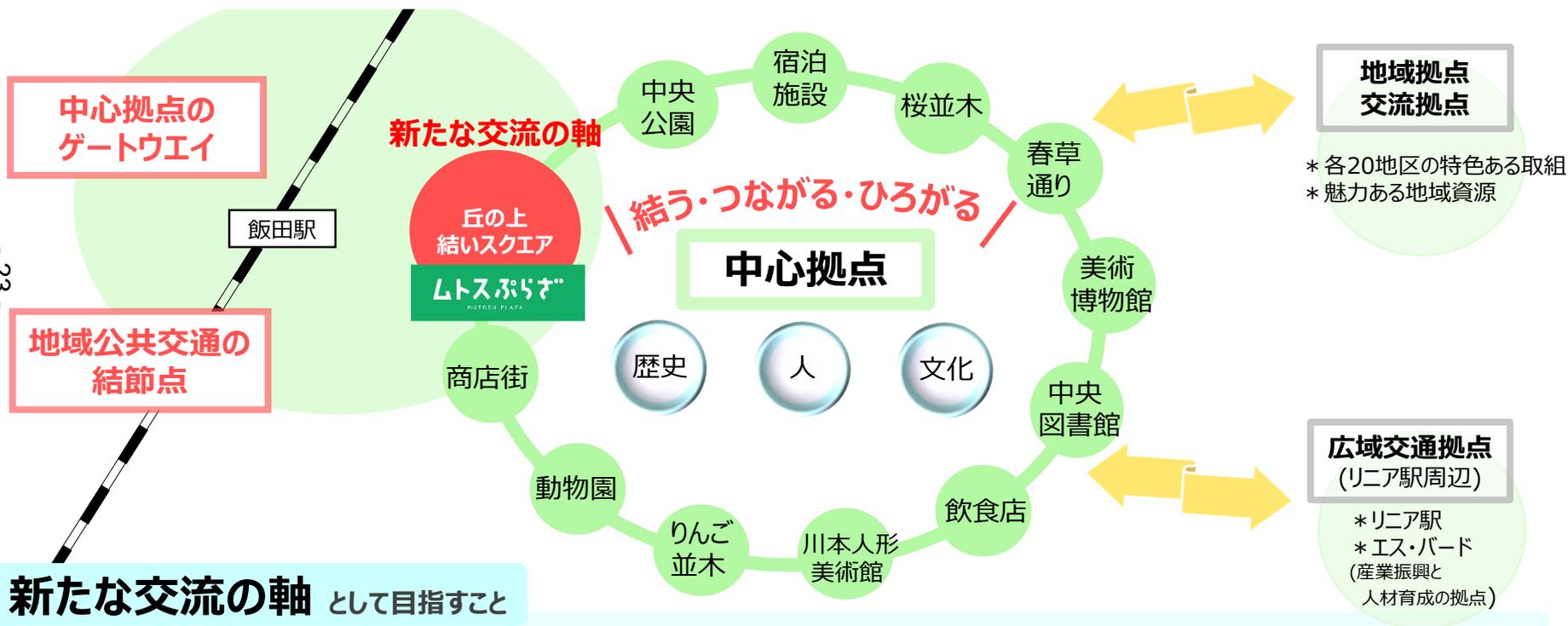
ムトスぷらざ庁内ワーキング  
(飯田市公民館)

# 1 『丘の上結いスクエア』整備の目的

中心市街地は「中心性・求心性・魅力」を活かし、ヒトやモノが集まる活気あるまちを目指し、まちづくりの精神であるりんご並木にて開催される歩行者天国イベントをはじめ、周辺にある動物園・博物館・飯田城跡などの歴史・文化の集積を核とし、近接する桜並木や春草通りなどでも様々な取組みが、多様な主体が連携し官民連携の活用の中でなされてきています。

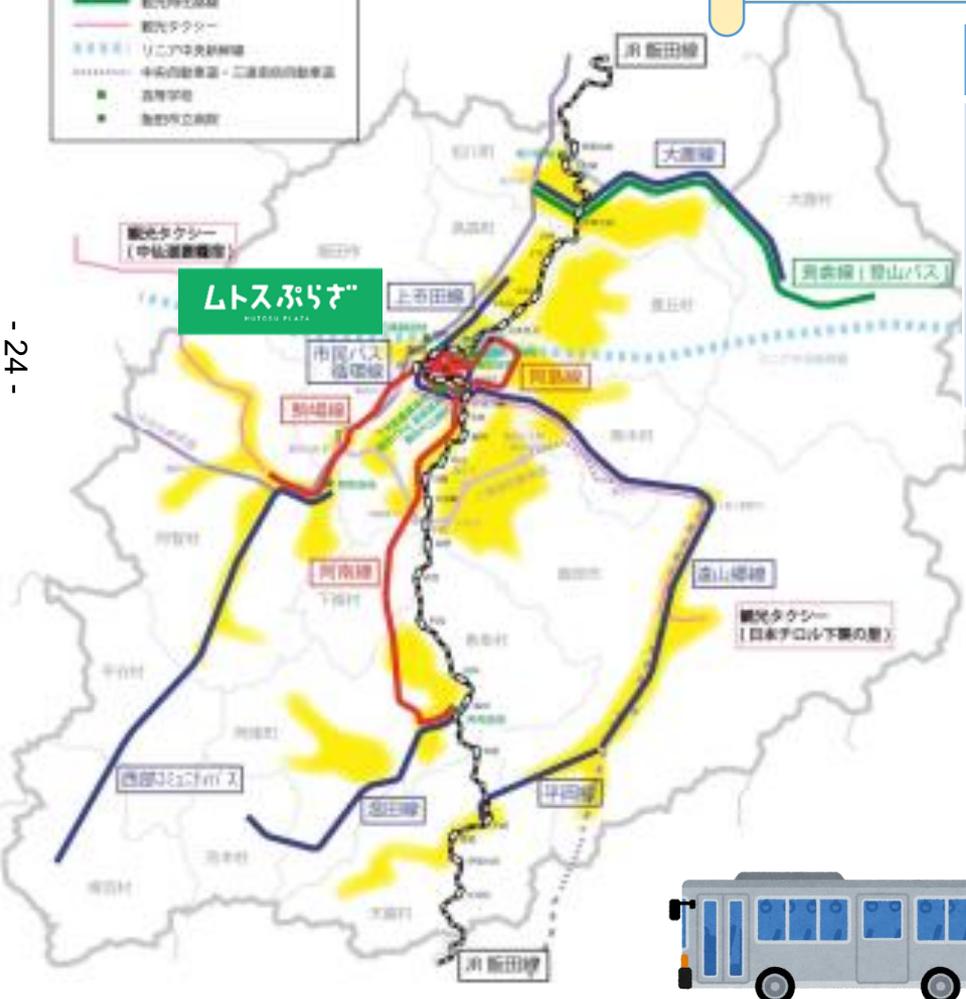
リニア中央新幹線開通を見据え、中心拠点としての中心市街地の魅力づくりを更に連携し広げていくことが必要であり、都市機能の増進及び経済活力の向上を総合的かつ一体的に推進することは、中心市街地のみならず本市およびその周辺の地域の発展にとって、有効かつ適切であると考え、**「公民館機能」「賑わい交流機能」「商業施設」**を導入した新施設を整備し、都市機能の集積の促進を図り賑わいの再生に取り組みます。

また、地域公共交通の結節点であり中心拠点のゲートウェイであるJR飯田駅前エリアに、「新たな交流の軸」と位置づけ、人々が出会い、人々が交流する**丘のまちの居場所を強化することで、まち全体に波及する相乗効果**を以下のとおり目指します。



- ◆ まちの回遊性を促進し、既存ストックを活用・強化・進化させ**中心拠点の魅力**を磨き上げ賑わいを創出します。
- ◆ まちなか**MICE機能を充実**させ、域内外の人々がつながり、**交流できる拠点**とします。
- ◆ 多様な価値観による人々の交流や気づき、学びから**新たな価値**を創発し、この創発を通じて地域の将来を担う人材を確保し育成します。特に、高校生が立ち寄りやすい立地を活かし、**高校生が自発的、主体的に活動**の中で、**地域の将来を担う人材**として育成していきます。
- ◆ 新たな価値の創発に必要なあらゆる情報の集約と活動を戦略的に発信できる、**地域の魅力の情報発信の拠点**とし、**交流人口や関係人口の創出・拡大**につなげていきます。

## 南信州公共交通システム



## 基本方針

リニア時代に備えて、住む人に優しく、  
訪れる人にも使いやすい地域公共交通システムの実現

## 目標1

移動不便地区の解消

## 評価軸

全ての集落から飯田  
市内の高校 5 校、飯  
田市立病院へ公共交  
通を利用して往復で  
ける状態をめざす。



# 3 ムトスぷらざを中心とした次世代育成事業

地区公民館相互の連絡調整を図る機関としての役割を担いつつ、全市を対象とした公民館事業、モデル事業を実施。地域の諸団体と連携協力を図り、住民の自由で主体的な学習活動の支援を通して**地域づくりを担う人材を育む役割を果たす。**

## ▶ 高校生講座を中心とした創発活動の働きかけ【着火型の創発事業】

地域に誇りと愛着を持ちながらグローバルな視点で飯田を捉え、地域の将来ビジョンを描ける人材の育成を目的年間を通じた高校生講座を実施する。飯田市公民館（ムトスぷらざ）を中心とした活動をするにより、集う高校生の核となる役割を果たし、他高校生への波及効果を狙う。

R4後期実施中

東北スタディツアー

学びの交流・共有

### ■ 高校生が大切だと思ったお話・言葉(一部)

(かもめ虹色会議 工藤真弓さん)

**かもめ虹色会議の取り組み** 一人ではできることは限られるけれど、みんなでやればできることが広がる。「自分(たち)がやるんだ」という気持ちになっていった。

**震災後に工藤さんが学んだこと** これまで自分自身の力を限定していた。自分(たち)こそが、まちづくりをするんだ。

**高校生に向けて** 学校の中だけでは同世代だけの関係で留まる。色々な年代、立場の人たちと話すことが大切。

(合同会社colere 三浦七海さん)

**高校生マイプロジェクトの取り組み** 自分の「やりたい!!」という意志を持つことは大切。自発的な行動・言動を大切にすること。

やりたいこと、疑問に思ったことに対して、自分なりに考えて行動することが必要。

**三浦さんが語り部の活動を通して感じること** 「生かされた命を活かしたい」。今ある日常がどれほど大切なものなのかを、語り部として多くの人へ伝えている。

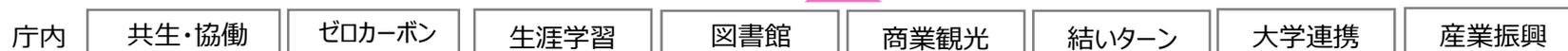
(大川伝承の会 佐藤敏郎さん)

**大川小学校で起きた東日本大震災の現実** なぜ、あんなことが起きたのか？

今、生きている私たちにしか明らかにできない。生きているからこそ、今後に伝えていかなくてはいけない。(=自分事にする)

「救いたかった命は、救えた命なんだ。」

## (仮称) ムトス倶楽部(庁内連携した連続講座の実施事業)



## ▶ 創発コーディネーターと連携した事業展開【発意型の創発事業】

ふらっと会議を実施することで、関わる市民の見える化、組織化を図り、自発的な活動の支援を行う

月1回

ふらっと会議

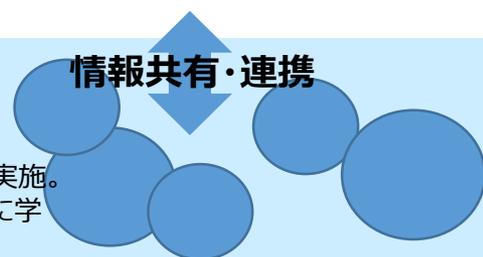
- \* ふらっとライブ(音楽を通じた高校生×青年×一般の交流事業)の実施
- \* 各団体と連携した事業の実施(例：ムトスぷらざのクリスマス(ふらっとライブ、アートワークショップ、国際交流、平和の種実行委員会、松本山雅))
- \* 飯田風越高校結いプロジェクト等と連携した事業計画実施

## ▶ 各地区 公民館における系統的な地域課題学習の組織化と支援

- 常に地域のことを共に考えられる小さな集団(社会)・仲間づくりの場をつくり、多重に重なり合う関係性をつくる。(子育て世代・若者・壮年層・ボランティア等)
- みんなが当事者であることを大切に課題を見つけだすまでの過程を重視し、住民主体の課題となるよう積極的な働きかけを実施。
- 相互承認関係や地域への信頼感をつくるため、成人式実行委員会後の青年層の集いや高校生の集い等を検討し、相互に学び続ける力を養える場、コミュニティを強化できる場を設定し、対話する関係を築く。

情報共有・連携

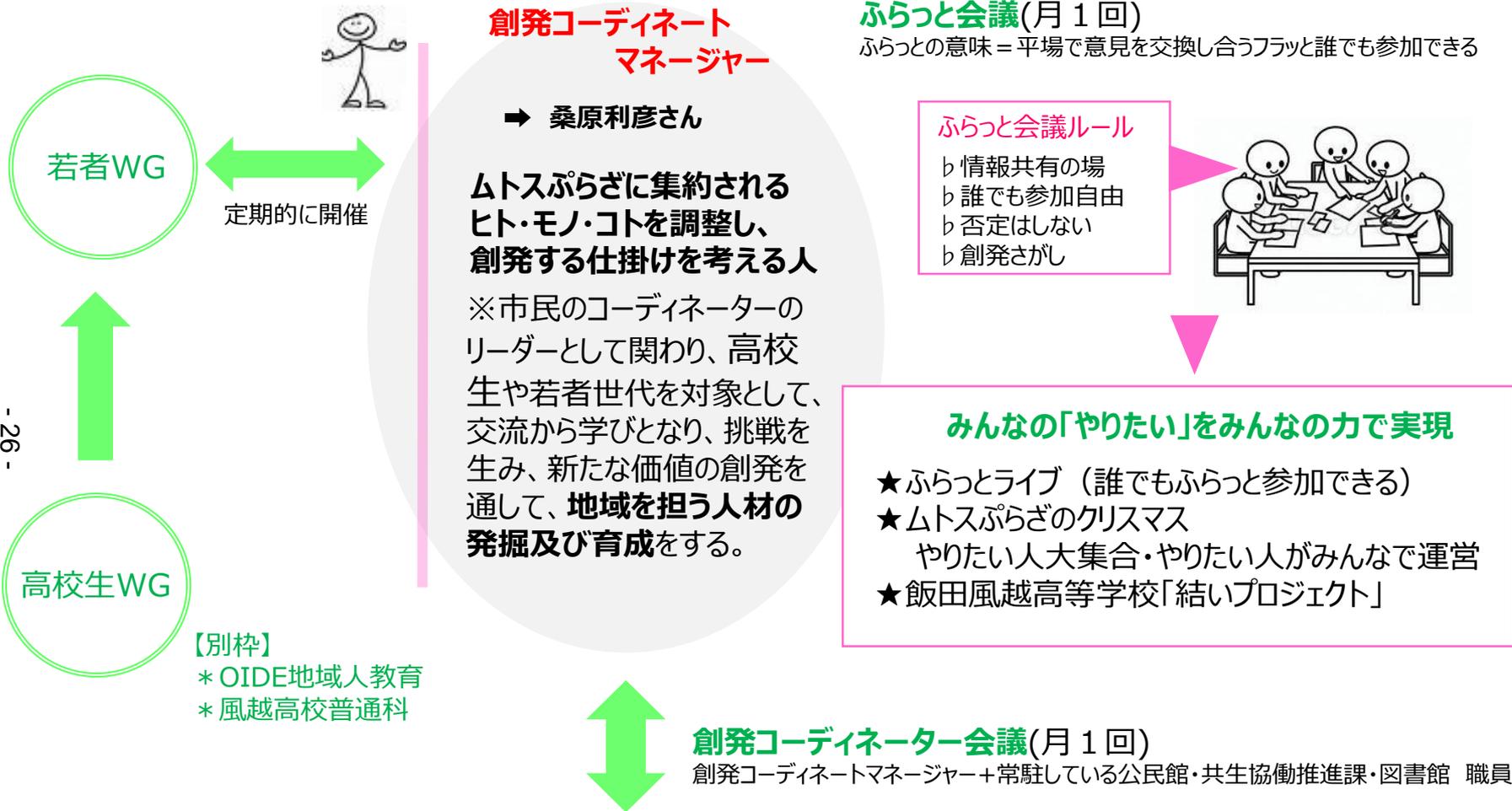
ムトスぷらざの文化祭 成果発表



- 25 -

# 4 創発コーディネーターを中心とした運営体制

関わる人すべてで創る・運営する・支える仕組みを構築



- 26 -

庁内 職員ひとりひとりが「創発コーディネーター」

庁内ワーキング

公民館	共生・協働	学校教育	図書館	生涯学習	商業観光	結いターン	大学連携	産業振興
駐在課	駐在課	教育支援指導主事勤務	司書勤務					



人形劇の公演をはじめ文化活動の拠点に

高校生を中心に子どもから高齢者まで多様な世代に利用いただき、オープンな場所で活動の「見える化」を促進しています。また、新たな交流が生まれる支援を行っています。

東北で出会った人の話から  
大切だと感じたキーワード



疑問・危機感・違和感  
をそのままにしない

行動すると  
大きな波になる

自分事に  
すること

小さなことの  
積み重ねが大切

相手のことを  
知ること

「やりたい!!」という  
意志を持ち、行動すること

みんなでやる

-28-

手段はひとつではない。  
色々な視点から考えると、できることはたくさんある。

自分が  
やるんだ!!

世代を越えた  
関係・つながり  
新たな発見・価値観の広がり

飯田でも大事!!

信頼  
関係

今だからこそ  
やらなくては  
ならないこと

支えてくれる  
人の存在  
身近な人・大人  
自分にとっては家族・友達

自分も  
支えられる人  
でありたい

本当に役立つもの  
とことん追求

生きている私たち  
だからこそできる  
こと

今、当たり前を  
大切にすること

伝えていくこと  
の大切さ

日常の大切さは、すぐ忘れがちになってしまう。  
常に意識することは難しいけれど大切にしたい。





オープン後から誰もが気軽に参加し創発につながるよう「ふらっと会議」を開催  
若者ワーキング・高校生ワーキングも始動

# ムトスぷらざのクリスマス!

12月24日(土曜日) 10:00から15:00

# ク リ ス マ ス

## ★橋北屋台囃子

オープニングは和太鼓演奏!



## ★保護猫愛活動 応援プロジェクト

飯田、下伊那の猫に関わる環境問題を共に考え変えていけるよう啓発活動を行っています。



## ★メタバース体験

VRゴーグルで仮想空間を体験



## ★音楽ライブ

アコースティックライブを中心にクリスマスソング等を演奏



## ★アートワーク ショップ

あなたのお気に入りのアート作品を作成



## ★ダンス発表

花依 (チャイナドレスショー)



GMD(ダンス)



飯田風越高校探究学習

## ★わくわく実験 「バルーンスライム」 どうして?!ふしぎ!を体験しよう



## ★平和の種プロジェクト

ウクライナの平和復興を目的として、今年の5月にスタートしました。



## ★松本山雅FC

ガンズくんがやってきた



©2011 YAMAGA

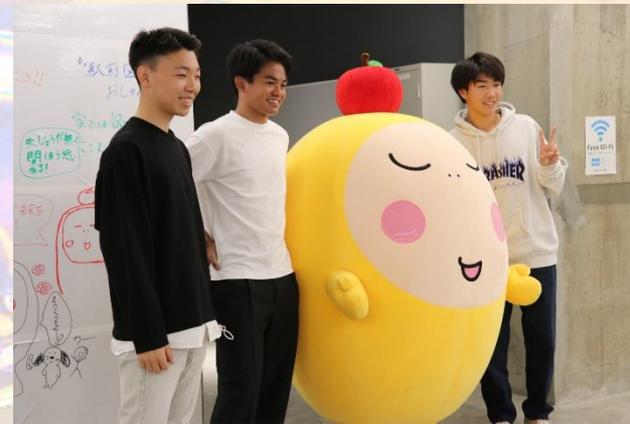
豊橋技術科学大学

多様性社会フィールドスタディ



新たな学びとの出会い





## 飯田市公民館利用実績

	利用申込件数	利用人数
令和 3年4～9月	537 (629)	16,672 (29,038)
令和 4年4～9月	1,095 (1,113)	33,774 (36,048)



# 令和4年度 飯田駅前図書館の取組報告

中央図書館

## 1 駅前図書館設置目的

- ・JR 飯田駅前という高校生が利用しやすい場所に図書館分室を設置することで、読書から離れがちな年代である高校生や若い世代が気軽に本に親しむ機会をつくる。
- ・多様な機能が備わるムトスぷらぎ内へ中央図書館のサテライト機能を設置し他機関と連携してサービスすることで、高校生の求める本や情報の提供を通して学習交流や活動を支援する。

## 2 令和4年度の取組と成果・課題

### (1) 図書館利用

利用状況（令和4年5月19日～令和5年2月28日）（詳細は4 統計 参照）

貸出冊数	19,848 冊 うち 15-18 歳 1,110 冊（全体の 5.5%）
貸出利用者数	のべ 6,008 人 うち 15-18 歳 406 人（全体の 6.7%）

※過去の利用状況と比較すると、今年度は 15-18 歳が微増に転じている。

※最も多い利用者層は 40 代。4,878 冊（全体の 24.5%）、1,495 人（全体の 24.8%）

- ・蔵書は 10,500 冊で小規模な図書館であるが、対象を高校生世代に特化し本をテーマごとに配置。
- ・こまめにコーナーを設置し、本に親しむことができるように工夫したことで、新鮮味が生まれ、興味喚起につながった。
- ・貸出数には含まれないが、勉強の合間や通りすがりに本を手にとったり、ステップ書架で親子や友達同士で本を眺める姿が多く見られた。3 階は学習に来る生徒が多いが、図書館が息抜きのスペースとしても親しまれている。
- ・予約本取り置きロッカーは、ムトスぷらぎ開館中いつでも借りられるため、稼働率は 8 割程度になる日も多く、利便性向上につながっている。利用者層は多様。
- ・高校生が来館する時間に合わせて職員の駐在時間を設定したが、3 階シェアスペースが高校生の自習利用がメインとなっており、高校生と職員がコミュニケーションをとる機会を作りづらい。

### (2) 企画

講座・交流活動等：7 回 参加者数 15 人／雑誌付録大抽選会 応募数 81／ 3/25 講演会予定

- ・高校生対象の企画を複数回実施したが、参加者集めに苦労した。一方、折紙の飾りつけや新年の抱負書きなど、その場で参加できる企画は好評であり、気軽に参加してもらえた。

### (3) 連携事業

- ・松本山雅パブリックビューイング、中部地区大学展、南信美術展、書道展、市民大学講座など、ムトスぷらぎを会場にした講座等において、関連図書の紹介展示（2 月末現在で 23 回）。参加者の学びや興味を広げることや、図書館の利用促進につながった。
- ・下伊那高等学校司書会に参加し、現在の高校生の様子や行事实施についての意見交換を行った。
- ・夏休みに行われた下伊那図書委員会交流会の実施に協力。7 校の図書委員の生徒が参加し、本の紹介などを行った。その時に作成した本の紹介 POP を駅前図書館に展示し、高校生と来館者を繋ぐ企画となった。

### 3 令和5年度の取組

高校司書会とも連携を取りながら、高校生に興味を持ってもらえる本の配置や展示、活動を検討し実施する。

- ・ 高校生の興味を探り、蔵書や展示、企画に活かす。
- ・ 気軽に参加できる企画を定期的実施し、関係づくりを図る。
- ・ 地域に関心を持ってもらうための郷土資料活用講座の実施。
- ・ 「ムトスぷらざ」を会場にした行事への関連本の提供・展示、他機関との連携の継続。

### 4 統計

#### 年代別利用者数比較（5月19日～2月28日）

令和4年度

	0-6	7-12	13-15	<b>16-18</b>	19-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99	合計
駅前	106	662	673	<b>406</b>	403	818	1,495	772	300	378	6,013
中央・県・上郷	10,041	11,972	2,370	<b>1,303</b>	5,218	12,642	19,494	17,302	16,852	20,681	117,882
合計	10,147	12,634	3,043	<b>1,709</b>	5,621	13,460	20,989	18,074	17,152	21,059	123,895

令和3年度											
中央・県・上郷	9,919	13,819	3,314	<b>1,399</b>	6,021	14,924	19,514	16,191	17,372	20,341	122,752
令和2年度											
中央・県・上郷	8,992	11,662	3,180	<b>1,578</b>	6,900	13,892	19,736	15,695	18,199	18,442	118,276
令和元年度											
中央・県・上郷	9,889	14,020	4,085	<b>1,688</b>	6,175	14,802	21,467	16,077	19,643	18,161	126,007
平成30年度											
中央・県・上郷	10,151	15,801	3,645	<b>2,024</b>	6,645	14,847	20,881	16,956	20,178	16,001	127,129
平成29年度											
中央・県・上郷	9,252	14,900	3,726	<b>2,215</b>	6,147	14,294	19,547	15,801	18,810	14,163	118,749
平成28年度											
中央・県・上郷	9,412	15,151	3,711	<b>2,287</b>	6,808	14,406	19,548	15,773	19,668	12,919	119,683

#### 年代別貸出冊数比較（5月19日～2月28日）

令和4年度

	0-6	7-12	13-15	<b>16-18</b>	19-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-99	合計
駅前	165	2,636	3,224	<b>1,110</b>	1,134	2,192	4,878	2,273	681	1,115	19,408
中央・県・上郷	33,068	56,084	9,236	<b>4,269</b>	16,655	48,854	67,508	50,453	51,938	64,075	402,140
合計	33,233	58,720	12,460	<b>5,379</b>	17,789	51,046	72,386	52,726	52,619	65,190	421,548

令和3年度											
中央・県・上郷	36,324	65,260	15,911	<b>4,945</b>	20,303	59,662	72,261	50,730	55,336	61,804	442,536
令和2年度											
中央・県・上郷	34,092	55,448	14,499	<b>5,594</b>	23,617	56,737	72,715	51,305	58,697	57,793	430,497
令和元年度											
中央・県・上郷	35,013	62,763	17,271	<b>6,222</b>	22,174	60,764	78,925	50,825	61,576	54,607	450,140
平成30年度											
中央・県・上郷	35,036	73,472	16,770	<b>6,849</b>	23,705	64,391	80,582	55,204	65,533	48,875	470,417
平成29年度											
中央・県・上郷	31,796	71,026	16,966	<b>7,803</b>	23,412	61,805	77,971	53,677	61,171	44,265	449,892
平成28年度											
中央・県・上郷	33,982	72,871	17,588	<b>7,586</b>	26,784	66,980	83,475	56,102	63,669	41,306	470,343

## 飯田市平和祈念館の開設までの経緯と概要について

### 1 飯田市平和祈念館開設までの経緯

平成12年6月	市議会に「平和祈念館(仮称)の設置について」の請願が提出され、趣旨採択。資料の散逸や戦争体験者が亡くなっていく中、資料収集等の体制づくりは必要。遊休施設の活用も考えられるとの意見があり、趣旨適当と認め採択。
平成13年～	平和資料収集委員会(請願提出団体を中心とした任意団体)を設置 戦争遺品等の資料収集を開始
平成15年7月	旧竜丘公民館(時又ふれあいセンター)へ資料を保存・展示
平成26年7月	旧竜丘公民館の建替えに伴い飯田市公民館へ平和祈念館資料室として移転
令和4年5月	公民館の移転にあわせて、ムトスぶらぎへ飯田市平和祈念館を開館

### 2 寄贈・寄託を受けている平和資料

(1)寄贈・寄託者数 66人

(2)平和資料数 1,795点

分類	総数	うち展示数
衣類・装備品 (軍服、防空頭巾など)	79	15
家財道具(皿、表札など)	6	5
貨幣・金券 (衣料切符、百円札など)	16	1
玩具(人形、かるたなど)	13	5
機械・工具 (医療器具、注射器など)	7	7
携行品 (軍隊手帳、水筒など)	51	13
写真	530	0
書籍(当時の雑誌など)	121	16

分類	総数	うち展示数
資料(航空隊教科書、世界地図など)	343	19
通信具(軍事郵便など)	397	5
日用品 (食缶、陶製湯たんぽなど)	55	23
武具(戦車の砲、機関銃薬きょうなど)	14	5
褒章品(徳利、賞状など)	74	3
巻物(軍記など)	1	0
その他(日章旗、盃など)	83	9
未分類(寄せ書きなど)	5	0
合計	1,795	126

### 3 飯田市平和祈念館の概要

開館日 年中無休(年末年始は除く)  
 開館時間 午前8時30分から午後10時00分  
 入館料 無料  
 床面積 189.77㎡

※入館人数はカウントしていない。出口にアンケート回収箱を設置し、観覧しての感想を寄せていただいている。

#### (1)設立趣旨(一部抜粋) 全文は参考資料のとおり

(前略)私たちは、この平和祈念館において、平和資料を通して戦時下の悲惨で過酷な状況を学ぶとともに、当地域の満蒙開拓の歴史を始めとした内外の「戦争の惨禍」の真実から、一人ひとりが「平和とは何か、そのために何をすべきか、何ができるのか」を考え、次世代に平和の大切さを語り継ぎます。  
(後略)

#### (2)展示内容の基本的な考え方

- \*展示内容については、飯田市が責任を負うものとする。
- \*学術研究の成果に依拠し、歴史史料としての根拠、出典が明確なものを展示する。
- \*市民が、平和の大切さや尊さについて、自ら主体的に学び、考えることができる展示内容にする。
- \*戦争の歴史を、多角的に学ぶことができる展示内容とし、戦争によって残された遺族が責められることのない展示とする。
- \*小学生から高校生までの学校での学習を基礎にして、子どもの発達段階に即して、「主体的で、対話的な、深い学び」が可能となる展示内容とする。
- \*住民との対話・交流等のコミュニケーションを継続的に深め、住民の合意を得ることが可能となる「公共空間」にふさわしい展示内容をめざす。
- \*基本的人権を尊重した展示内容とする。特に著作権の侵害がないことや、個人情報への配慮を行うものとする。

(3)展示のテーマ(展示の流れ) 詳細は見学用メモ用紙の裏面をご覧ください。

- ①戦争への道 軍国主義への抵抗
- ②戦争の恐ろしさ
- ③戦時下の暮らし
- ④戦争のない世界へ
- ⑤共生により未来の平和を

#### 4 飯田市平和祈念館の活用実績

(1)飯田市平和祈念館での展示案内の実績

※希望者から事前申込を受けて対応

15団体 延176人(うち中学校 1校 延24人 )

(2)平和資料の貸出実績

1団体

※ 団体が参加している地区公民館の文化祭の展示用としてパネル、軍事郵便、千人針、奉公袋など  
6種類11点を貸し出し、市民の平和の尊さを伝えていく機会とした。

(3)満蒙開拓平和記念館との連携した取組

- ①パートナー自治体WEEK(満蒙開拓平和記念館の入館料無料) 令和5年2月13日～2月19日
- ②満蒙開拓平和記念館の出張パネル展(飯田市平和祈念館に展示) 令和5年1月28日～2月5日

(参考)

飯田市平和祈念館の開設を契機とした、高校生及び若者世代を対象とした平和学習講座

- 戦争体験等を聞く機会の少ない高校生や若者世代を対象にして、戦争の惨禍から平和について考えるとともに、お互いの文化的ちがいを認め合うこと、公平な社会であること、人権が守られていることなど、これからの平和の在り方を主体的に学び、平和を次世代に語り継いでいくことを目的として、「平和・人権・多文化ゼミナール」を開催した。
- 高校生を指導した経験のある元教員や、高校時代に平和ゼミナールなどに参加した経験のある若者(ユースアドバイザー)に協力をいただきながら運営。
- 令和4年度7回開催 参加者延69人
- 参加した高校生の声(抜粋)
  - ・平和とは戦争がなくなることだけではないということを聞いてなるほどと納得できました。
  - ・私達の今の行いが将来の子孫に影響すると思うと色々よく考えなければいけないと思いました。
  - ・口に出して戦争のことを話す機会がなかったので、参加できてよかったです。また、色々な意見や考え方があり、知ることができてよかったです。
  - ・友達と聞く、言い合う、共感することが大切だと思った。当たり前で寝る、ご飯を食べることは何よりも幸せだなと感じました。
  - ・自分のことばかりではなく、他の世界の人、文化に目を向けていくことが大切だということを改めて学べることが出来ました。

## 部活動地域移行を見すえた中学生期のスポーツ・文化芸術活動環境の充実に向けた取組について

飯田市教育委員会

### 【中学校部活動改革の経過 ※抜粋】

- 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(H30) スポーツ庁
- 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(H30) 文化庁
- 「長野県中学生期のスポーツ活動指針」改定 (H30) 長野県
- 「飯田市の中学校部活動の活動指針」改定 (H30. R2) 飯田市
- 「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン」  
(R4) スポーツ庁・文化庁

### 1 取組の背景と課題

#### ①少子化

- 課題1 生徒数減少に伴う部活動数の減少と競技や活動の選択肢の少なさ
- 課題2 専門的な知識や競技経験が少ない教職員による指導

#### ②過熱化

- 課題3 長時間化する部活動の活動時間
- 課題4 継続する部活動の延長の社会体育
- 課題5 少年スポーツの過熱化等による運動部活動の加入率の低下 →体力低下

### 2 飯田市のこれまでの取組と成果

#### (1) これまでの重点的な取組

#### ①生徒の心身の成長に配慮した学校部活動の適正化 = 部活動の活動指針の改定

- ・学校の教育活動としての部活動の意義の再確認
  - 生徒の心身の健やかな成長と生きる力や生涯にわたって運動や文化芸術活動に親しむ力を育む学校の教育活動である。
- ・適正な活動時間の設定 年間総活動時間平均 665 時間→410～430 時間に改善
  - 平日の練習時間は 2 時間以内、1 日以上 of 休養、土日は 3 時間以内どちらか 1 日を休養日とする
  - 部活動の延長としての社会体育の廃止 (H26 県教委通知の適用)
  - 11 月～1 月までの 3 ヶ月間を放課後部活動オフ期間とする。
    - = 冬季ジブン・チャレンジ期間の設定 (やりたいこと、新しいことに挑戦)

#### ②地域における多様な選択肢が可能な活動の場づくり

- ・飯田市スポーツ協会との連携による「全市型競技別スポーツスクール」の実施 (R1～)
  - 「体験型」「競技力向上」等、中学生の志向に対応した教室 (R4: 16 競技 20 講座)
- ・社会教育機関等との連携による文化講座の実施 (R2 試行 R3～本格実施)
  - 英会話体験、プログラミング教室、人形劇、地区公民館企画教室 等 (R4: 21 講座)

#### ③生徒の主体性を育む取組と活動を支える教職員や指導者の力量形成

- = 筑波大学ADとの連携による授業・研修会の実施
- ・11 月～1 月のオフ期間を「冬季ジブン・チャレンジ期間」とし、全学校で展開、教職員対象研修会を実施
  - R4. 11～R5. 1: 竜峡中学校での実践(全 3 回)、教職員対象研修会(1 回)

- ・生徒が主体となる部活動の実現へ向けたモデル事業（チームビルディング研修）
  - R4.7～8：旭ヶ丘中バレーボール部、テニス部、飯田西中バレーボール部、飯田東中・西中合同野球部 部員と顧問を対象とした目標設定

(2) これまでの取組の成果と課題

- (成果)
- ①部活動時間の適正化による心や身体の不調の予防
  - ②中学生の地域での多様なスポーツ・文化芸術活動の機会提供
  - ③学校の枠を越えた新しい交流機会の提供
  - ④中学生の主体性や挑戦する意欲の向上
  - ⑤教職員や競技団体等指導者等の力量形成
- (課題)
- ①保護者や地域指導者の中学生のスポーツ活動に対する意識の醸成
  - ②特に小規模校や山間部の生徒のニーズに応じた活動の機会提供

### 3 令和5年度以降の取組の方向性

※部活動の地域移行を進めていく上で前提となる考え方

従来の学校部活動の受け皿をつくることではない。これまでの取組を土台にして、大切にしていきたいことを関係者と共有しながら進めていく。

(1) 部活動地域移行をみすえためざす姿

『中学生がウェルビーイングを感じながら、

**地域の中で、やりたいスポーツ・文化芸術活動に挑戦できる場づくりを進めていく』**

部活動の意義を引き継ぎ、中学生の\*ウェルビーイングを中心においた、より良いスポーツ・文化芸術活動の場を、学校・保護者・地域が連携し地域ぐるみでつくっていくことを共通理念とすることで、結果的に生涯にわたってスポーツに親しむ子どもを育むことにつながる。

\*ウェルビーイング：楽しい、熱中する、仲良く、充実感を感じる、成長する等のさまざまな生徒の欲求を踏まえた 心も体も健康で幸せな状態

(2) 取組みの方向性

- ①全市型競技別スポーツスクールや文化講座は選択肢の一つととらえ、各地区関係団体や民間等との連携による、中学生の志向や地区の実状に応じた新たな活動の場の創出
  - スポーツ協会や各地区関係団体、民間クラブ等の実態把握と新たな活動の場の検討
- ②生徒の心身の成長に配慮した活動の適正化の継続
  - 活動指針の遵守、保護者や地域指導者への意識啓発
  - 部活動総時間数 665 時間→410～430 時間
- ③生徒の主体性を育む指導者の育成
  - 冬季ジブン・チャレンジ期間の展開や生徒が主体となる部活動運営事業の継続
  - 指導者の心得6カ条の共有
  - 指導者育成研修会の実施と市独自の指導者認定制度等の検討
- ④部活動地域移行の目的や活動の適正化に対する保護者や地域指導者への理解促進
  - 指導者・保護者を対象とした研修会等の開催
- ⑤将来に向けた体制づくりをめざした、学校・地域・関係団体等との協議の場の設置

### (3)関係者による連携協議会の設置について

#### ①目的

学校、地域、文化・スポーツ関係者が集まり、地域における中学生の多様な文化芸術・スポーツ活動の場を充実に向けて協議する。

#### ②協議内容

- ・部活動地域移行についての目的の共有、進め方（ロードマップ等）
- ・エリアや運営主体に関すること
- ・指導者の確保、育成に関すること（教職員の兼職兼業、育成研修会、認定制度等の検討）
- ・参加費等の負担や財源の確保に関すること
- ・保護者や指導者の意識の醸成（ルールづくり、研修会等）
- ・関係団体の役割 等

#### ③組織図



#### ④構成メンバー(案)

小中学校、公民館、PTA 連合会、社会教育委員会、下伊那教育会、スポーツ推進審議会、飯田市スポーツ協会、スポーツ推進委員協議会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、民間クラブ、飯田文化協会、伊那谷研究団体協議会、文化芸術活動関係者、外部アドバイザー、 等

#### ⑤スケジュール(案)

- ・～R4.3 協議会準備……会議の役割、現状と課題、今後の進め方についての検討
- ・R5.5 第1回会議……現状の課題や部活動地域移行の意義の共有、ビジョンの検討
- ・〇月 第2回会議……ビジョンの策定、進め方の確認
- ・〇月 第3回会議……役割分担、次年度以降の進め方の検討

# 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する 総合的なガイドライン【概要】

- 少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、速やかに部活動改革に取り組む必要。その際、生徒の自主的で多様な学びの場であった部活動の教育的意義を継承・発展させ、新しい価値が創出されるようにすることが重要。
- 令和4年夏に取りまとめられた部活動の地域移行に関する検討会議の提言を踏まえ、平成30年に策定した「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」及び「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」を統合した上で全面的に改定。これにより、学校部活動の適正な運営や効率的・効果的な活動の在り方とともに、新たな地域クラブ活動を整備するために必要な対応について、国の考え方を提示。
- 部活動の地域移行に当たっては、「地域の子供たちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、生徒の望ましい成長を保障できるよう、地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。地域の実情に応じ生徒のスポーツ・文化芸術活動の最適化を図り、体験格差を解消することが重要。

※ **I** は中学生を主な対象とし、**高校生**も原則適用。**II～IV**は公立中学校の生徒を主な対象とし、高校や私学は実情に応じて取り組むことが望ましい。

## I 学校部活動

教育課程外の活動である学校部活動について、実施する場合の適正な運営等の在り方を、従来のガイドラインの内容を踏まえつつ示す。

(主な内容)

- ・ 教師の部活動への関与について、法令等に基づき業務改善や勤務管理
- ・ 部活動指導員や外部指導者を確保
- ・ 心身の健康管理・事故防止の徹底、体罰・ハラスメントの根絶の徹底
- ・ 週当たり2日以上以上の休養日の設定（平日1日、週末1日）
- ・ 部活動に強制的に加入させることがないようにする
- ・ 地方公共団体等は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形で環境整備を進める

## II 新たな地域クラブ活動

学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場として整備すべき新たな地域クラブ活動の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体の整備充実
- ・ 地域スポーツ・文化振興担当部署や学校担当部署、関係団体、学校等の関係者を集めた協議会などの体制の整備
- ・ 指導者資格等による質の高い指導者の確保と、都道府県等による人材バンクの整備、意欲ある教師等の円滑な兼職兼業
- ・ 競技志向の活動だけでなく、複数の運動種目・文化芸術分野など、生徒の志向等に適したプログラムの確保
- ・ 休日のみ活動をする場合も、原則として1日の休養日を設定
- ・ 公共施設を地域クラブ活動で使用する際の負担軽減・円滑な利用促進
- ・ 困窮家庭への支援

## III 学校部活動の地域連携や 地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

新たなスポーツ・文化芸術環境の整備に当たり、多くの関係者が連携・協働して段階的・計画的に取り組むため、その進め方等について示す。

(主な内容)

- ・ まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進
- ・ 平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進
- ・ ①市区町村が運営団体となる体制や、②地域の多様な運営団体が取り組む体制など、段階的な体制の整備を進める  
※ 地域クラブ活動が困難な場合、合同部活動の導入や、部活動指導員等により機会を確保
- ・ 令和5年度から令和7年度までの3年間を改革推進期間として地域連携・地域移行に取り組みつつ、地域の実情に応じて可能な限り早期の実現を目指す
- ・ 都道府県及び市区町村は、方針・取組内容・スケジュール等を周知

## IV 大会等の在り方の見直し

学校部活動の参加者だけでなく、地域クラブ活動の参加者のニーズ等に応じた大会等の運営の在り方を示す。

(主な内容)

- ・ 大会参加資格を、地域クラブ活動の会員等も参加できるよう見直し  
※ 日本中体連は令和5年度から大会への参加を承認、その着実な実施
- ・ できるだけ教師が引率しない体制の整備、運営に係る適正な人員確保
- ・ 全国大会の在り方の見直し（開催回数の精選、複数の活動を経験したい生徒等のニーズに対応した機会を設ける等）

# 学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像（イメージ）

## 学校部活動

【位置付け】**学校教育の一環**（教育課程外）

指導者	当該校の教師
参加者	当該校の生徒
場所	当該校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付



## 学校部活動の地域連携

■ **合同部活動**の導入や**部活動指導員等**の適切な配置により生徒の活動機会を確保

指導者	<b>部活動指導員等、関係校の教師</b> （※アスリート・アーティスト等の人材を含む）
参加者	関係校の生徒
場所	拠点校の施設
費用	用具、交通費等の実費
補償	災害共済給付

■ 少子化の中、持続可能な体制にする必要  
（学校や地域によっては存続が厳しい）

■ 地域の実情に応じた段階的な体制整備

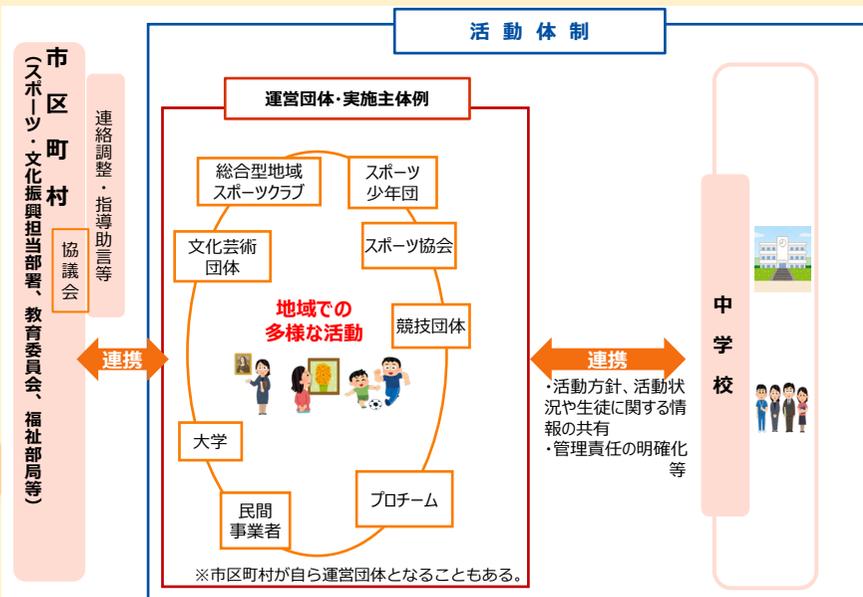
地域の実情に応じ、  
当面は併存

## 休日の地域クラブ活動

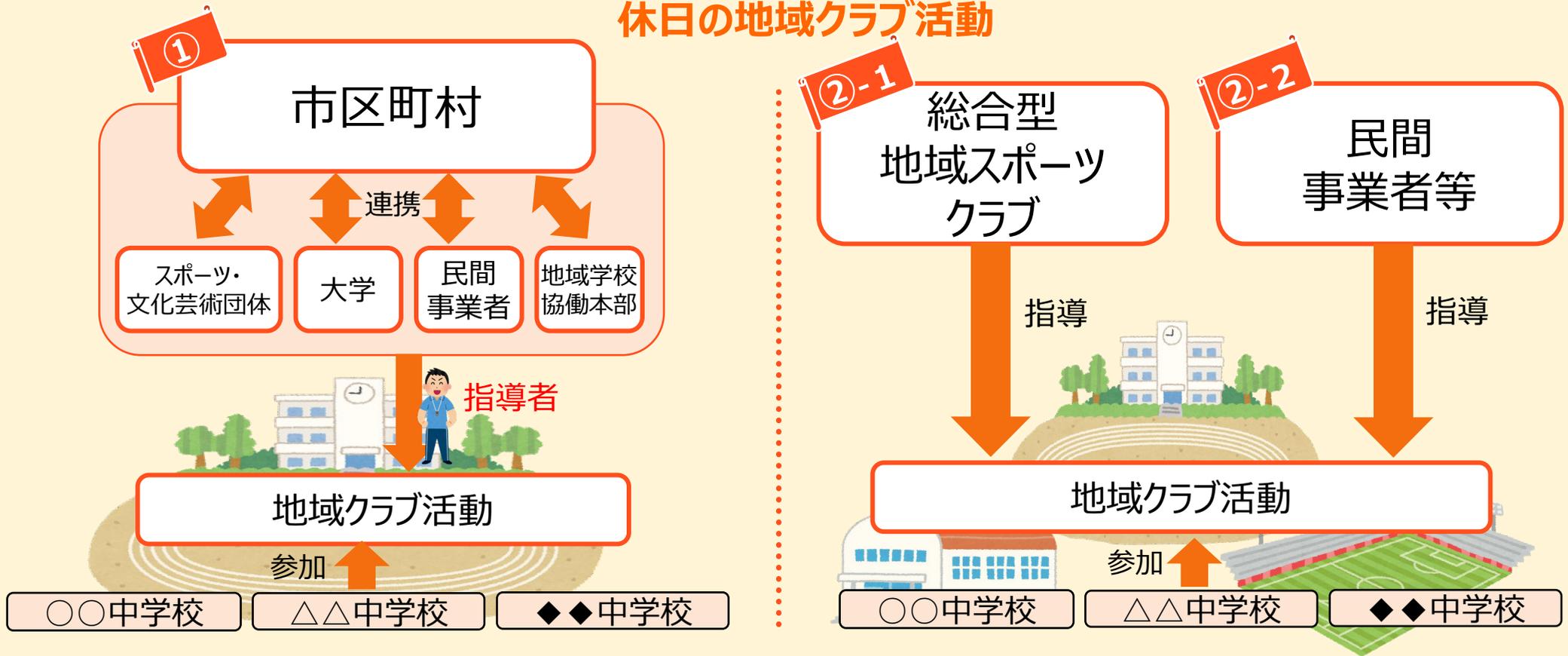
【位置付け】**学校と連携して行う地域クラブ活動**  
（法律上は社会教育、スポーツ・文化芸術）

■ **地域の多様な主体**が実施。学校は、活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有等を通じて連携。

運営団体・実施主体	① <b>地方公共団体</b> （※複数地方公共団体の連携を含む） ② <b>多様な組織・団体</b> （総合型地域スポーツクラブ、スポーツ少年団、体育・スポーツ協会、競技団体、プロチーム、民間事業者、大学、文化芸術団体、地域学校協働本部、同窓会等）
指導者	<b>地域の指導者</b> （一部教師の兼職兼業）
参加者	地域の生徒（※他の世代と一緒に参画する場合を含む）
場所	学校施設、社会教育施設、公共のスポーツ・文化施設、地域団体・民間事業者等有する施設
費用	可能な限り低廉な会費＋用具、交通費等の実費
補償	各種保険等

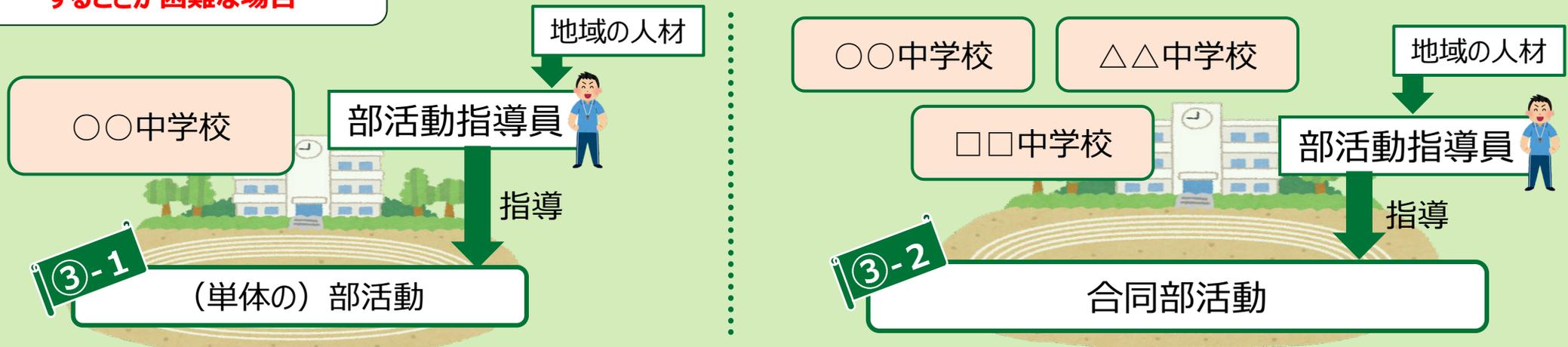


## 休日の地域クラブ活動



## 学校部活動の地域連携

※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合



# 休日の部活動の地域移行に係る手順の流れ（イメージ例）

都道府県

協議会の設置 方針の提示 情報発信

市区町村



〔 都道府県：  
人材バンクの設置 〕  
〔 学校：教師の兼職  
兼業の希望の把握 〕



〔 学校：学校施設の  
開放 〕



# 休日の部活動の地域移行に係る要素（例）

	関係者の巻き込み・合意形成	運営団体の確保	指導者の確保	その他環境整備	実施
都道府県	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署】</li> <li>・協議会を設置</li> <li>・<b>方針の提示</b></li> <li>・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて<b>情報を発信</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署】</li> <li>・都道府県単位のスポーツ・文化芸術団体との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署】</li> <li>・指導者の発掘・把握</li> <li>・<b>人材バンクの設置</b></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【教育委員会】</li> <li>・兼職兼業の規定・運用の改善</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署】</li> <li>・活動を広く周知</li> </ul>
市区町村	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署】</li> <li>・教育委員会等とも連携し、<b>協議会を設置</b></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・関係者へのヒアリング等を実施</li> <li>・<b>ニーズ・課題を把握</b></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化主管課】</li> <li>・手引きやHPの作成、説明会の実施等を通じて<b>情報を発信</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署・協議会】</li> <li>・地域スポーツ・文化活動を担う運営団体を確保</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・運営団体との連携体制を構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・人材バンクの活用</li> <li>・地元の民間企業・大学等との連携</li> <li>・地域人材の掘り起こし</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・運営団体・実施主体との<b>マッチングを実施</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・学校施設や社会教育施設等の<b>活動場所を確保</b></li> <li>・施設利用の効率的運用等を検討し、利用ルール等を策定</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>【協議会】</li> <li>・地域クラブ活動における<b>活動内容を決定</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【スポーツ・文化振興担当部署】</li> <li>・活動を周知し、実施</li> </ul>
スポーツ・文化芸術団体、民間事業者等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記協議会への参画</li> <li>・上記ヒアリングの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記取組への協力・参画</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材バンクへの人材登録</li> <li>・研修等を通じた指導者の<b>質・量の確保</b></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【運営団体】</li> <li>・地域クラブ活動における具体的な活動内容を決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【運営団体】</li> <li>・活動を周知し、実施</li> </ul>
学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上記協議会への参画</li> <li>・教師のニーズ把握</li> <li>・生徒・保護者のニーズ把握</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師の兼職兼業の希望の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用ルールに基づく学校施設の開放</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動方針、活動状況や生徒に関する情報の共有</li> <li>・地域クラブ活動について周知</li> </ul>